

星島二郎

岡山縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳四等



堀内良平

山梨縣選出、立憲民政黨
會社重役



明治三十年十一月山梨縣八代郡黑駒村ニ生ル、東京法學院ニ學ブ
「日蓮主義努力ノ勝利」勤王ノ聖者ニ生ル、著書アリ、郡會議
員、同議長、縣會議員、同參事、東京商工會議所議長、同常務
者、甲州葡萄酒株式會社社長、東京株式會社社長、同常務
等トナル、現ニ富士山麓電氣鐵道株式會社社長、同常務
株式會社取締役、財團法人鐵道同業株式會社社長、同常務
會社取締役、財團法人鐵道同業株式會社社長、同常務
自動車協會會長タリ、自動車製造會理事、同常務
營業改善調査委員會、山梨縣防空委員會各委員ヲ命セラ
當選三回(17 19 20)

本田彌市郎

大阪府第四區選出、立憲民政黨
勳四等、會社員



明治元年一月三重縣飯南郡花岡村ニ生ル、司法省法律學校ニ學
フ、株式會社銀行支店配人、松阪輕便鐵道株式會社監査役トナル、株
式會社銀行支店配人、松阪輕便鐵道株式會社監査役トナル、株
又豐崎町會議員、市會議員ニ選ハレ、都市計畫大阪地方委員
委員被仰付、國勢調査委員、失業統計調査委員ヲ命セラ
阪電氣鐵道株式會社取締役、大阪厚生信用組合專務理事、大阪
府信用組合聯合會監事タリ、當選四回(16 17 18 20)

本田義成

東京府第一區選出、立憲政友會
勳四等、會社員



明治四年九月新潟縣三島郡片貝村ニ生ル、四谷區會議員、同議
長、東京府會議員、同參事、東京市特別市計畫委員會委員ニ
舉ケラル、又東京府警務委員會委員長トナル、特別市計畫委員
員、補償審査委員被仰付、大木戸住宅株式會社監査役、朝鮮營
林洋行代表社員トナル、現ニ東京市會議員ニシテ公園電氣事業、
財政其他各種ノ常設委員タリ、列國議會同盟會議ニ參列シ歐米
各國ヲ視察ス、當選四回(15 17 18 20)

眞鍋勝

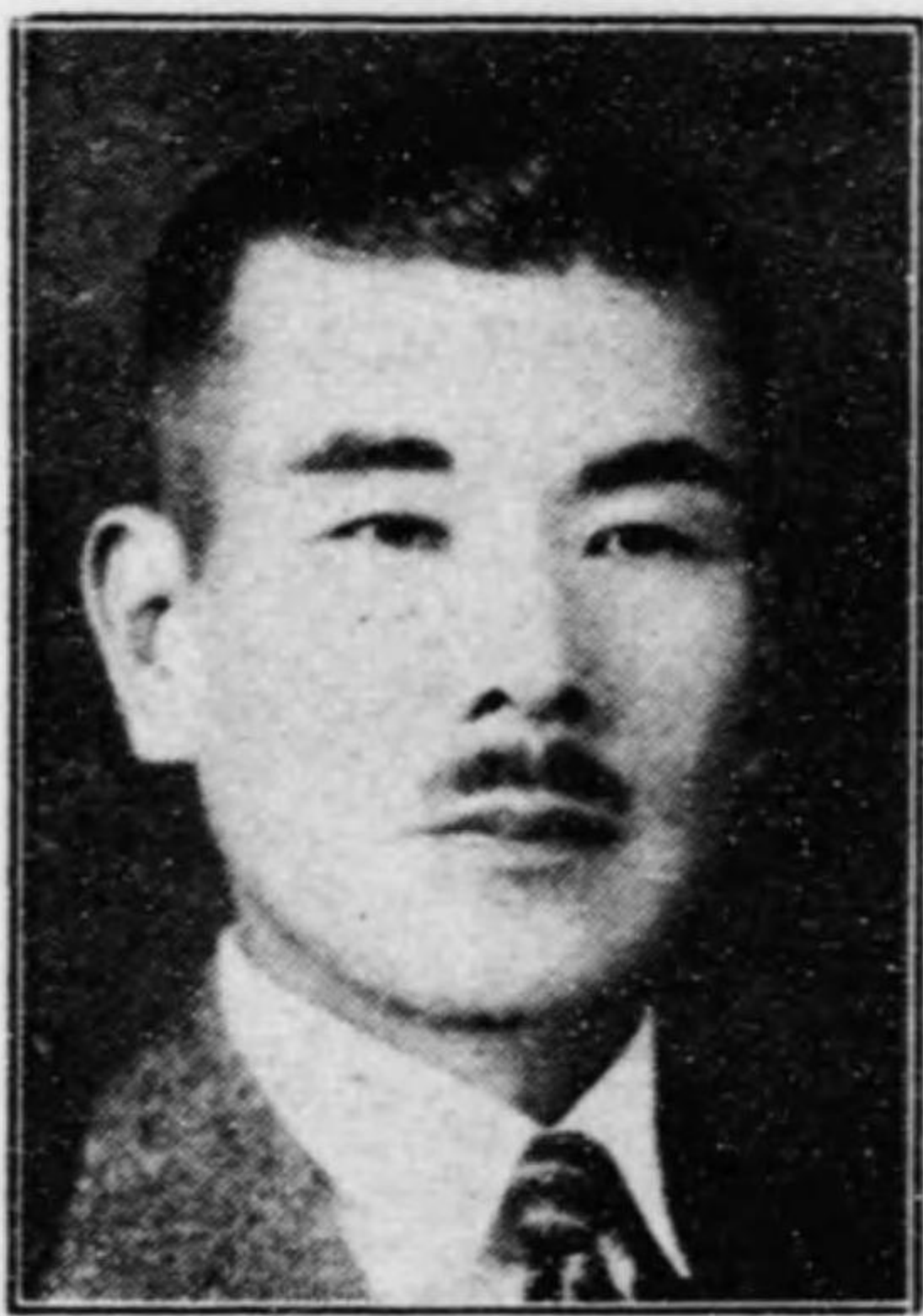
德島縣第二區選出、立憲民政黨
勳四等、辯護士



明治十四年十二月德島縣美馬郡貞光村ニ生ル、東京帝國大學文學部英文科、京都帝國大學法學部卒業○辯護士ノ業務ニ從事ス、教科書調査會委員被仰付、南洋方面ヲ視察ス、又列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選四回(16 18 19 20)

眞鍋儀十

東京府第四區選出、立憲民政黨
勳四等、會社員



明治二十四年九月長崎縣壹岐郡箱崎村ニ生ル、明治大學法科ニ學ブ「新選舉法解釋」府縣制通「通俗哲學」「滿洲大觀」等ノ著書アリ○衆議院臨時囑託、逓信省囑託トナル、政府貸付金處理委員被仰付、現ニ城北電線株式會社社長、東京露店燈取扱株式會社取締役タリ、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北滿ヘ派遣セララル○當選四回(17 18 19 20)

前川正一

香川縣第一區選出、社會大衆黨
著述業



明治三十一年二月高松市ニ生ル、京都同志社大學ニ學ブ「左翼農民運動組織論」「農民組合の話」「百姓貧乏物語」ノ著書アリ○曾テ小學校代用教員タリ、農民組合運動ニ携ハリ全國農民組合組織部長トナル○當選一回(20)

前田房之助

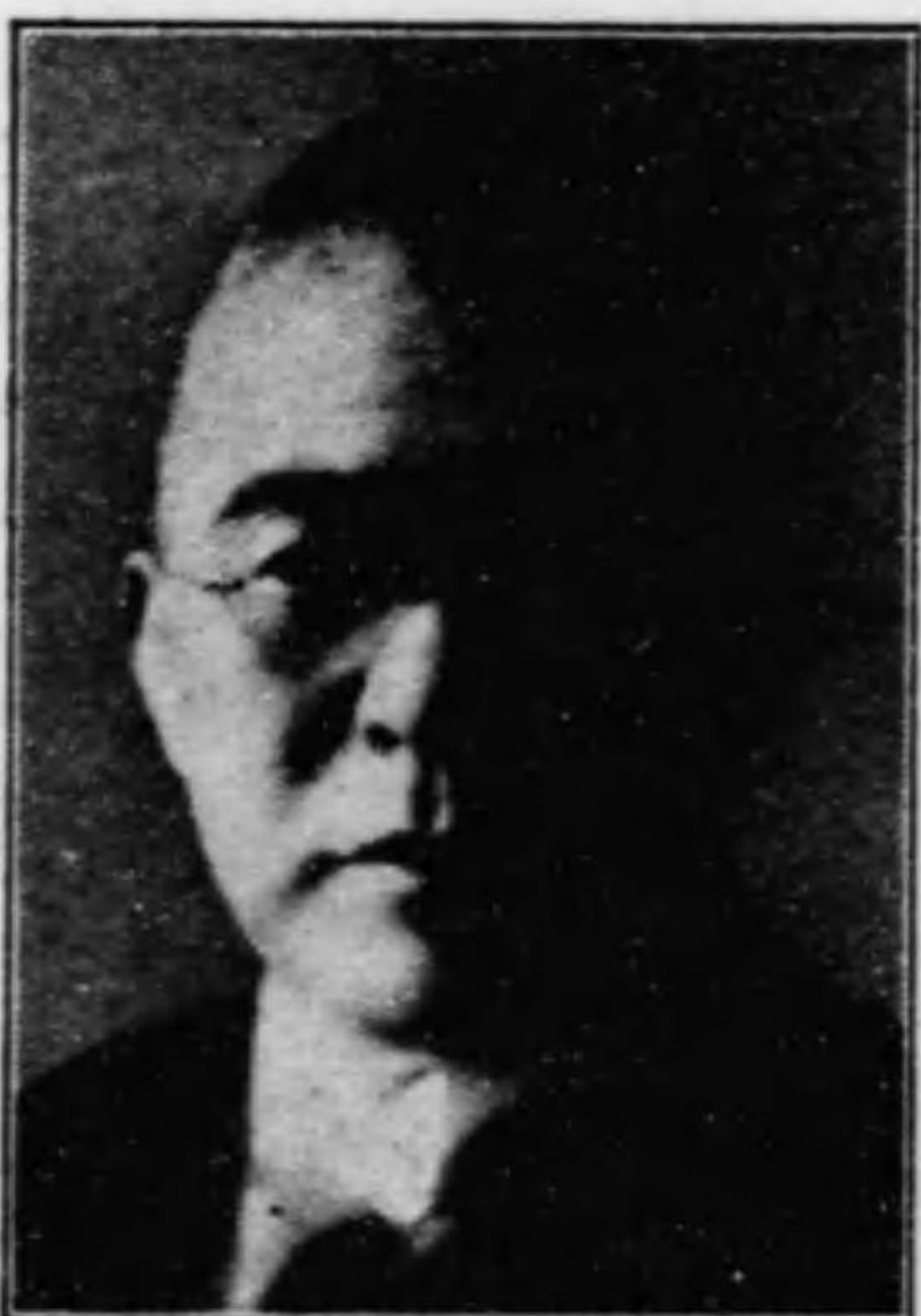
兵庫縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等



明治十七年九月兵庫縣武庫郡大社村ニ生ル、神戸高等商業學校卒業○武庫郡會議員、大社村長ニ選ハル、寶塚尼崎電氣鐵道株式會社社長、西宮土地株式會社社長、大阪瑛瑯株式會社各取締役、攝津電氣自動車株式會社監査役トナル、又大藏參事官ニ被任、國有財産調査會、寺院境内地讓與審査委員會、中央諸官衙建築準備委員會、關稅調查委員會、簡易生命保險積立金運用委員會、臨時資金調整委員會、航空事業調査委員ヲ被仰付、逓信政務次官ニ被任、海事審議會委員、航空事業調査委員ヲ命セララル、列國議會同盟會議ニ參列ス、又歐米各國及滿鮮支那ヲ視察ス○當選六回(15 16 17 18 19 20)

前田米藏

東京府第六區選出、立憲政友會
從三位勳一等



牧野賤男

東京府第五區選出、立憲政友會
正五位勳四等、辯護士



明治十五年二月和歌山縣伊都郡高野口町ニ生ル、中央大學卒業
○馬政委員、鐵道大臣ニ被任、文政審議會委員、行政審議會委員、
大審院評事、市會委員、簡易生命保險積立委員、國有財產調查委員、
別都計書委員、中央統計委員、市會計書委員、中央審議會委員、
幹事長、宗敎制度調查員、資源審議會委員、法制審議會委員、
舉事長、宗敎制度調查員、資源審議會委員、法制審議會委員、
大禮正審議官、被仰付、實業教育振興委員、米穀對策調查委員、
現ニ内閣參議タリ○當選八回(13 14 15 16 17 18 19 20)
東京府第五區選出、立憲政友會
正五位勳四等、辯護士

牧野良三

岐阜縣第三區選出、立憲政友會
從四位勳三等、辯護士



明治十八年五月岐阜縣大野郡高山町ニ生ル、東京帝國大學法科
卒業○文官高等試驗ニ合格、遞信省爲替貯金局證券課長、通信
副事務官、又辯護士事務ニ從事シ、京阪青果市場聯合會顧問トナル、
ラル、又辯護士事務ニ從事シ、京阪青果市場聯合會顧問トナル、
商工審議會、國產振興委員會、損害保險調查委員會、不當廉賣
審査委員、生命保險積立金運用委員會、預信部資金運用委員會、
電氣事業委員會、國語審議會、貴族院制度調查委員會、法規整備委員
會各委員被仰付、又航空事業調查委員會ヲ命セラル、實業
教育振興委員會委員ヲ囑セラル○當選七回(14 15 16 17 18 19 20)

牧山耕藏

長崎縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、新聞社長



明治十五年一月長崎縣壹郡勝本町ニ生ル、早稻田大學大學部
政治經濟科卒業○京城居留民團議員、京城學校組合議員ニ選
ハル、株式會社社長、日新報社社長、朝日新聞社社長、朝
鮮鑛山株式會社社長、日新報社社長、朝日新聞社社長、朝
帝國產金株式會社社長、日新報社社長、朝日新聞社社長、朝
船國產金株式會社社長、日新報社社長、朝日新聞社社長、朝
トシテ參列歐米各國ヲ視察ス○當選八回(13 14 15 16 17 18 19 20)

增田 義一

新瀉縣第四區選出、立憲民政黨
勳四等、著述出版業



明治二年十月新瀉縣中頸城郡板倉村ニ生ル、早稻田大學卒業、青
年と修養「其他著書數種アリ」○嘗テ讀賣新聞記者タリ、且多年
「實業之日本」其他數種ノ雜誌ヲ發刊經營シ又圖書ヲ出版ス、
現ニ實業之日本社長タル外數會社ノ重役ヲ兼ネ、早稻田大學理
事タリ、臨時國語調査會委員、國有財産調査會委員、小作調査
會委員、國際貸借審議會委員、文政審議會委員、鐵道會議々員、
國語審議會委員、內閣情報部參事會委員、紀元二千六百年祝典評議
委員會委員、國會議員、○當選七回(11 15 16 17 18 19 20)
衆議院副議長タリ○當選七回(11 15 16 17 18 19 20)
○觀米各國ヲ視察ス○曩ニ

增永 元也

福岡縣第三區選出、立憲政友會
從四位勳四等



明治十四年十月福岡縣八女郡福島町ニ生ル、東京帝國大學工科
大學電氣工學科卒業○鐵道廳技師、鐵道院技師、鐵道局技師、鐵
道技師ニ歷任新橋電力事務所長、電氣局通信課長、同電化課長、
兼電力課長ヲ命セラシ、鐵道省電氣局長ニ被任、電化調査委員、
軍事輸送委員、發電調査委員、大禮委員會委員其他數種ノ委員、
ヲ被命又工業品規格統一調査委員、臨時電力調査會委員被仰付、
鐵道ニ關スル電氣事業研究ノ爲歐米ニ留學ス○當選一回(20)

町田 忠治

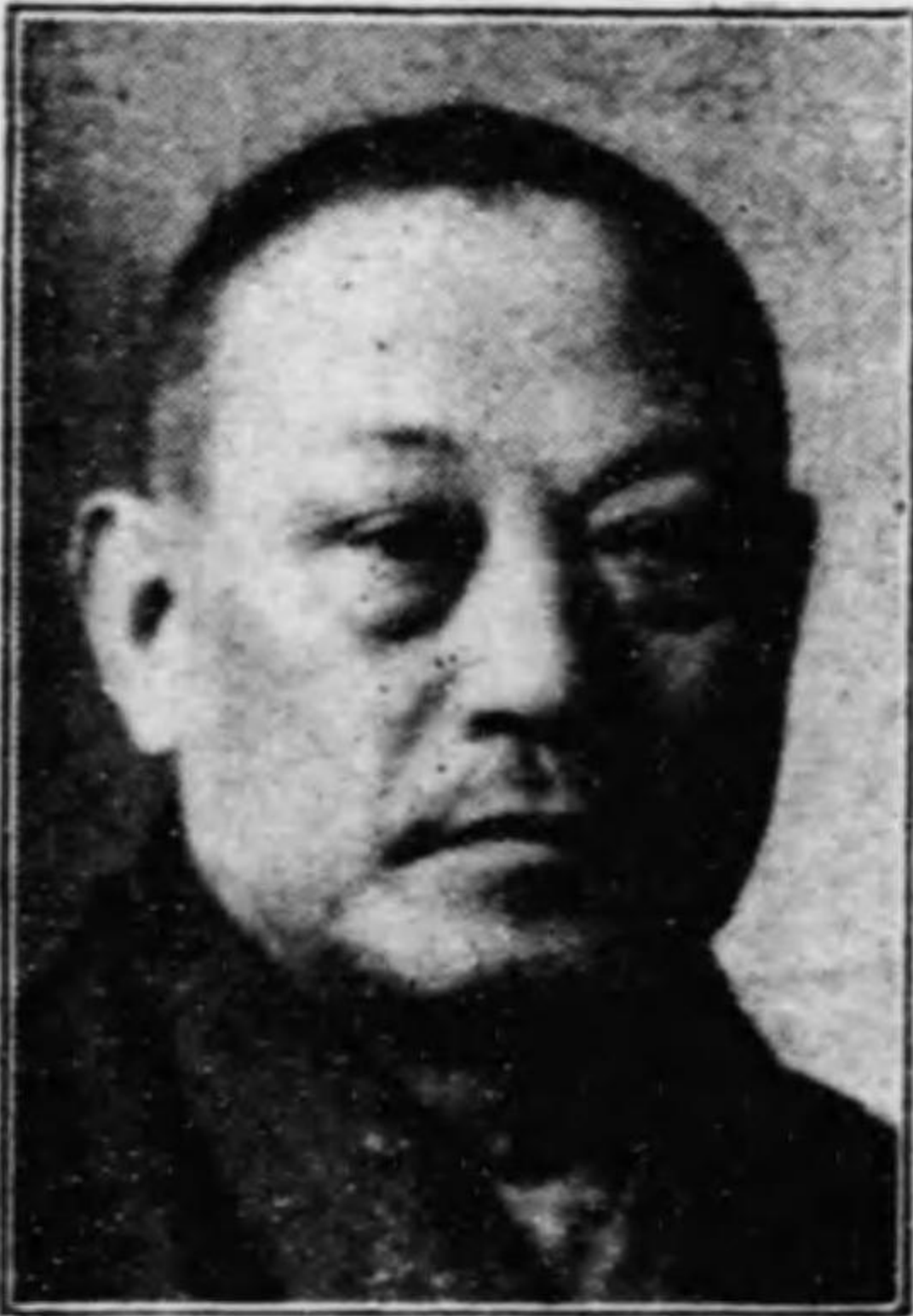
秋田縣第一區選出、立憲民政黨
正三位勳一等



文久三年三月秋田市ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業「財政
學ニ憲法評論」其他數種ノ著書アリ○曾テ東洋經濟新報ヲ創刊
ス、日本銀行取締役、山口銀行總理事、大阪銀行集會所委員長、
報知新聞社長トナル、農商務省參政官ニ任セラシ、再度農林大
臣ニ被任、又商工大臣ニ被任、大藏大臣ニ兼任セラレ、特ニ前官
ノ禮遇ヲ賜ハル、小作調査會、米穀委員會各會長、人口食糧問
題調査會副會長、社會政策審議會、關稅審議會各會長、國際貸借審議
會各委員被仰付、現ニ內閣參議タリ、再度歐米各國ヲ漫遊ス○
當選九回(11 12 13 15 16 17 18 19 20)

松井 郡治

新瀉縣第一區選出、立憲民政黨
正七位、辯護士



明治四年一月新瀉縣中頸城郡津有村ニ生ル、東京專門學校法律
科卒業○司法官試補、檢事代理ヲ經テ判事ニ被任、新瀉、旭川、
長岡各區裁判所及新瀉地方裁判所判事ニ補セラシ、新瀉市會議
員、新瀉縣會議員ニ選ハル、又新瀉辯護士會長、都市計畫委員
トナル、列國議會同盟會議ニ日本議員團長トシテ參列、歐米各
國ヲ視察ス○當選四回(15 17 19 20)

松浦伊平

香川縣第二區選出、立憲政友會
土木建築請負業



明治二十三年一月香川縣綾歌郡松山村ニ生ル○多年土木建築請負業ニ従事ス、屢、松山村會議員、香川縣會議員ニ選ハレ、縣參事會員、同副議長ニ推サル、現ニ松山村會議員、香川縣除蟲菊同業組合組長、永富池、北條池耕地整理組合聯合會長、坂出瓦斯株式會社專務取締役、大藪製鹽株式會社、金山新鹽株式會社各取締役タリ○當選一回(20)

松浦周太郎

北海道第二區選出、立憲民政黨
木材商



明治二十九年五月北海道茅部郡落部村ニ生ル○美深町會議員、北海道會議員、美深消防組頭ニ舉ケラル、合資會社松浦木工場代表社員、樺太ベニヤ株式會社々長、北海道製飴株式會社取締役タリ○當選一回(20)

松尾三藏

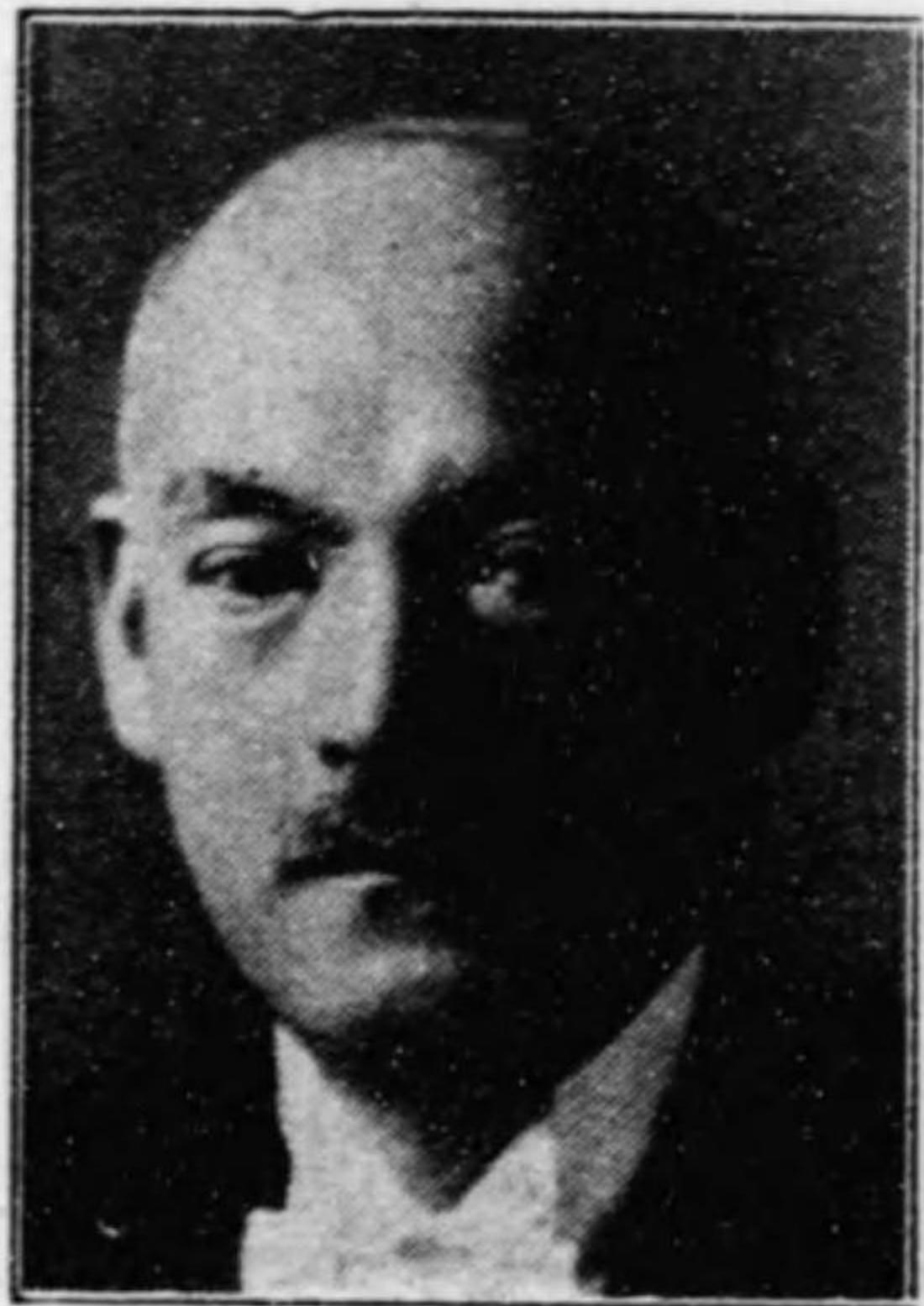
福岡縣第二區選出、立憲民政黨
會社重役



明治二十一年一月福岡縣八女郡川崎村ニ生ル○三菱合資會社ニ勤務ス、香月町會議員ニ選ハル、現ニ香月町消防組頭、福岡縣消防協會評議員及理事、遠賀郡畜産組合長、福岡縣畜産聯合會評議員、香川町商工會長及信用組合理事、金丸鑛業株式會社取締役、久恒鑛業、田籠鑛業、藤井鑛業、三崎鑛業、九州曹達各株式會社顧問タリ○當選一回(20)

松尾四郎

奈良縣選出、立憲民政黨
勳四等、會社重役



明治十六年五月奈良縣宇陀郡松山町ニ生ル○奈良縣農會議員、松山町會議員ニ舉ケラル、葛城稅務署管内土地賃貸價格調査委員、宇陀郡農會長、同教育會長トナル、又大和銀行、吉野小川銀行、大和電氣、大正水力電氣、宇治川電氣、奈良縣農工銀行、各株式會社重役トナル、貴信生駒電氣鐵道、三芳索道、南都銀行、大和貯蓄銀行各株式會社取締役、奈良信託株式會社監査役タリ、戰後ノ歐米ヲ歴遊ス、國際觀光委員會委員、政府貸付金處理委員會委員被仰付○當選五回(16 17 18 19 20)

松岡俊三



山形縣第二區選出、立憲政友會
勳三等功七級、新聞社重役

松方幸次郎



鹿兒島縣第一區選出、第二控室
正五位勳二等、會社員

慶應元年十二月鹿兒島市ニ生ル、米國ニ留學シ「エール」大學卒業
業トクトル、オプシビルローノ學位ヲ得後英國「オクス」大學卒
業トクトル、佛國巴黎大學ニ於テ法律學ヲ研究ス、内閣總理大
臣トシテ、佛國大使、佛國銀行、佛國商會、佛國造船會、佛國
專務取締役、佛國株式會社、佛國汽船株式會社、佛國船舶株式會社
九州電氣軌道株式會社、川崎汽船株式會社、川崎造船株式會社、
國社其他數會社ノ社長、重役トナル、又九州土地株式會社、
實業代表員トシテ、石油株式會社、石油株式會社、石油株式會社、
褒章ヲ賜ハル、又シテ石油株式會社、石油株式會社、石油株式會社、
ヲ贈ラル、○當選三回(11 19 20)

松川昌藏



岩手縣第二區選出、立憲政友會
正七位、公吏

明治二十五年二月岩手縣東磐井郡松川村ニ生ル、京都帝國大學
法科大學獨逸法律科卒業、○司法官試驗ヲ合格シ、豫備檢事トシテ
テ檢事ニ任セラレ、岐阜地方兼區裁判所檢事、水戸地方兼區裁
判所檢事ニ被補、後辯護士トシテ、松島地方裁判所、松島地裁
支部、同參事會員ニ選ハル、又岩手縣興調會委員トナル、現
員、一關町長ニシテ、西磐井郡、又岩手縣興調會委員トナル、現
證責任信用組合一關庶民金庫組合長トシテ、岩手縣防空委員會委
員被仰付、○當選二回(19 20)

松木弘



新潟縣第二區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士

明治十二年四月新潟縣北蒲原郡新發田町ニ生ル、東京法學院卒
業、○判事檢事登用試驗ニ合格ス、司法官試驗ヲ命セラレ、後辯
護士トナル、新潟縣會議員、同議長ニ擧ケラル、又屢、新潟市
會議員ニ選ハル、新潟電力株式會社監查役、新潟港灣倉庫株式
會社監查役タリ、○當選三回(18 19 20)

松永義雄

埼玉縣第一區選出、社會大眾黨
辯護士



明治二十四年七月愛知縣海部郡立田村ニ生ル、東京帝國大學獨

逸法科卒業「商業信用狀論」「英國勞働組合法論」「國家財政論」

「地方財政論」其他ノ著書アリ○辯護士ヲ開業現ニ其業務ニ從事

ス、東京市會議員、同參事會員長タリ○當選一回(20)

松野鶴平

熊本縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳三等、會社重役



明治十六年十二月熊本縣菊池郡城北村ニ生ル○朝鮮紡織株式會
社、滿洲製麻株式會社、鯛生金山株式會社、長トナル、日本電報通信社各
取縮ニ任セラル、瓦斯事業委員會委員、中央衛生會臨時委員、勞
官ニ任セラル、瓦立公園委員會委員、阿片委員會委員、勞
健衛生調查會臨時委員、國立審議委員會臨時委員、神戶會社調查會
員保險調查會臨時委員、國典法制審議委員會臨時委員、選舉制度調查會
委員、元二六百年祝典準備委員會委員、選制度調查會
員被仰付○當選六回(14 16 17 18 19 20)

松村謙三

富山縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳四等、農



明治十六年一月富山縣西礪波郡福光町ニ生ル、早稻田大學政治
經濟科卒業○報知新聞記者トナル、又富山縣會議員ニ選ハル、
農林大臣祕書官、農林參事官ニ任セラル、米穀統制委員會委員、米
穀統制調查會臨時委員、米穀統制委員會委員、農村經濟更生中
央委員會委員、資源審議會委員、貴族院制度調查會委員被仰付
○當選五回(16 17 18 19 20)

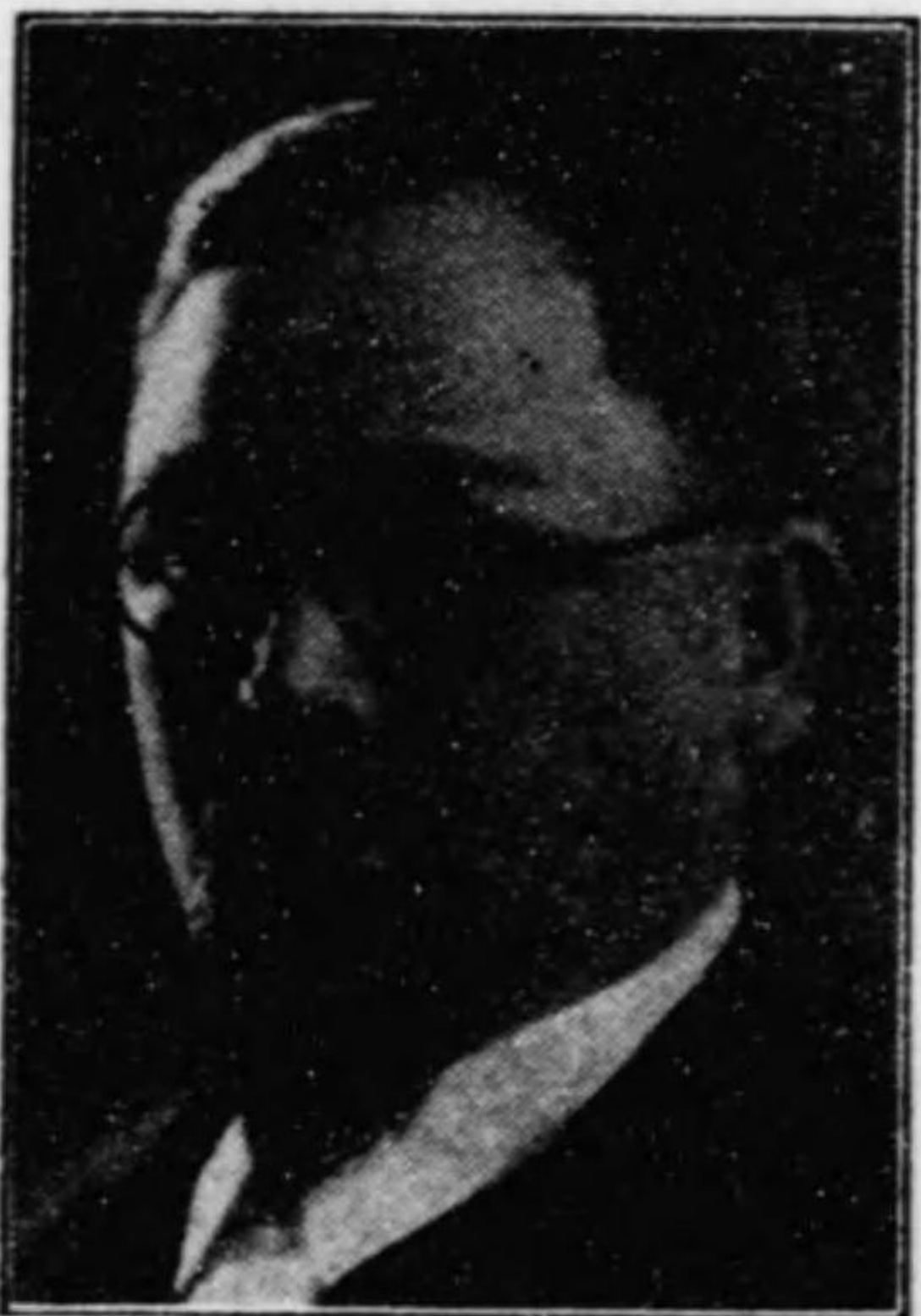
松村光三

栃木縣第二區選出、立憲政友會
正五位勳四等、會社重役



明治十五年十二月栃木縣下都賀郡栃木町ニ生ル、東京高等商業
學校專攻科卒業後伯林大學、伯林高等商業學校ニ經濟學ヲ修ム
「貨銀論」其他數種ノ著書アリ○古河合名會社監査役、日光山
肥料株式會社、旭電氣工業、八戸水力電氣各株式會社、日本會社
鐵道株式會社、政策取縮トナル、又內務省健康保險第二次審査員、
協調會、労働保險調查會、社會政策振興委員會、日本會社、南洋支那
員トナル、勞働委員會、商工統制委員會各委員被仰付、不當廉賣審査委
員會、瓦事業委員會、商工統制委員會各委員被仰付、日本製鐵株式會社、
及歐米各國ヲ遊ス、商工統制委員會各委員被仰付、統制委員會、貿易
立委員、百貨店委員會、度量衡制度調查會、統制委員會、貿易
審議會各委員被仰付○當選五回(16 17 18 19 20)

松本治一郎



福岡縣第一區選出、社會大眾黨
土木建築請負業

明治二十年六月福岡市ニ生ル、山東省ニ歷遊語學ヲ修ム○福岡市堅粕消防組頭トナル、部落民解放運動ニ參加シ、現ニ全國水平社執行委員長、中央委員會議長タリ、滿洲及支那山東省地方ヲ視察ス○當選二回(1920)

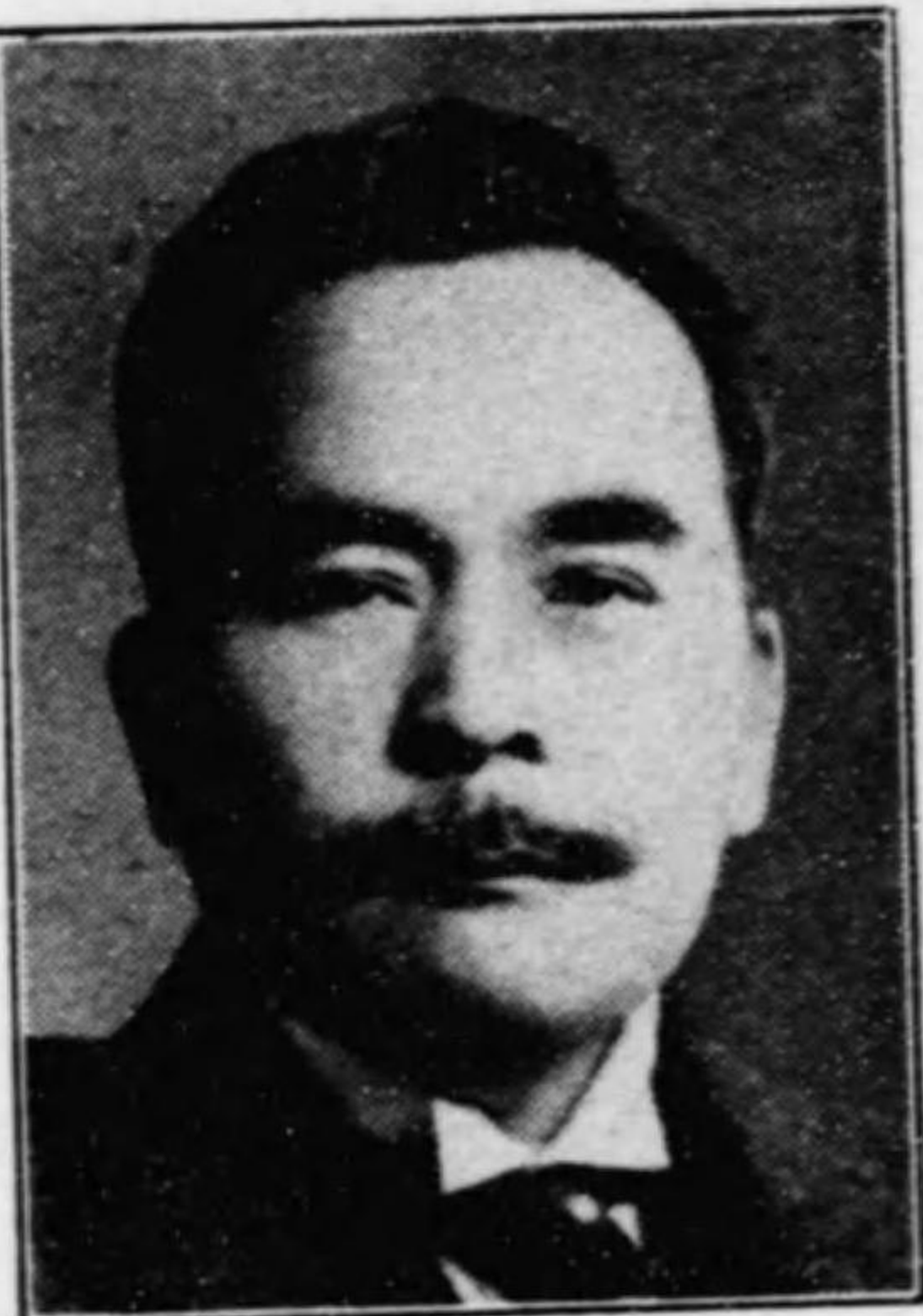
松本忠雄



長野縣第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等、官吏

明治二十年七月長野縣上水内郡北小川村ニ生ル、東亞同文書院卒業○やまと新聞記者トナル、内閣總理大臣秘書官ニ任セラレ、又東京市助役トナル、外務參與官ニ任セラレ、國有社寺現境内地無償讓與調査委員會、法制審議會臨時、選舉制度調査會、貴族院制度調査會、對支文化事業調査會、阿片委員會、關稅調査委員會各委員被仰付、現ニ外務政務次官タリ、萬國議院商會會議及列國議會同盟會議ニ參列シ、歐米各國ヲ視察ス○當選六回(151617181920)

松山常次郎



和歌山縣第一區選出、立憲政友會
正五位勳四等、會社重役

明治十七年三月和歌山縣伊都郡九度山町ニ生ル、東京帝國大學工科大學卒業後米國ニ於テ橋梁學ヲ研究ス○東京府土木課員トナル、陸軍工兵少尉ニ任セラレ、又朝鮮ニ於テ水田開墾事業ニ從事ス、川佐農場及大正水利組合技師長トナル、黄海社及南海拓殖會社、鮮滿開拓會社ヲ創立シ開墾水利事業ニ從事ス、派遣軍等慰問ノ爲滿洲及支那ニ派遣セラレ、宗教制度調査會委員被仰付、外務參與官ニ被任、對支文化事業調査會委員被仰付○當選六回(141517181920)

丸山辨三郎



長野縣第一區選出、立憲政友會
從六位勳六等

明治十二年二月長野縣下高井郡平野村ニ生ル、東京高等商業學校附設商業教員養成所卒業○長野市立甲種商業學校教諭、市立長野商業學校校長兼教諭ニ任セラレ、後長野市長ニ舉ケラレ三期間在職ス○當選一回(20)

三宅正一

新潟縣第三區選出、社會大衆黨
醫療組合理事



明治三十三年十一月岐阜縣惠那郡靜波村ニ生ル、早稻田大學政治經濟學部卒業「青年運動論」「電氣料はいくらが正當か」「農民辭典」「木崎爭議の真相」ノ著書アリ○農民組合運動ニ從事シ新潟縣ニ駐在ス、中越醫療組合理事ノ創立ニ努メ現ニ其常務理事タリ、長岡市會議員ニ選ハル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラル○當選二回(1920)

三好榮次郎

鳥取縣選出、立憲民政黨
新聞社長



明治十八年八月米子市ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○山陰實業銀行頭取、内國通運株式會社、山陰水力電氣株式會社各取締役トナル、株式會社山陰日日新聞社ヲ創立シ、現ニ其社長タリ、國際觀光委員會委員、鐵道會議議員、臨時電力調査會委員被仰付○當選五回(15 16 17 19 20)

三善信房

熊本縣第二區選出、立憲政友會
從七位勳四等、農



明治十五年五月熊本縣上益城郡六嘉村ニ生ル○陸軍歩兵中尉ニ任セラル、三度熊本縣會議員ニ當選、同參事會員ニ擧ケラル、熊本縣畜産組合聯合會々長、九州畜産會會長、帝國馬匹協會理事、中央畜産會理事タリ、社會事業調査會委員ヲ委囑セラル、日本競馬會設立委員ヲ命セラル○當選三回(18 19 20)

三輪壽壯

東京府第五區選出、社會大衆黨
辯護士



明治二十七年十二月福岡縣糟屋郡内村ニ生ル、東京帝國大學法學部獨法科卒業○辯護士ヲ開業現ニ其業務ニ従事ス、金錢債務臨時調停委員ニ選任セラル、又東京府教育調査會委員ヲ囑託セラル、内閣調査局専門委員、選舉制度調査會委員、米穀配給調整中央委員會委員被仰付○當選一回(20)

水谷長三郎

京都府第一區選出、社會大衆黨
辯護士



明治三十年十一月京都市ニ生ル、京都帝國大學法學部法科卒業
「唯物史觀批判」科學的社會主義序論「ゴータ綱領批判」史的
「唯理論略解」通俗資本論「階級意識論」法廷に於ける小作争
議一等ノ著書及翻譯書アリ○大原社會問題研究所囑託、立命館
大學講師トナル、又社會運動ニ携ハリ日本農民組合顧問トナル、
列國議會同盟會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察ス○當選三回(16 19
20)

南鼎三

大阪府第六區選出、立憲政友會
農



明治十四年五月大阪府泉北郡伯太村ニ生ル、關西商工學校卒業
○大阪府土木工手、土木技手、東京市土木技手、京都市土木技
手ヲ命セラル、又大阪府會議員、同參事會員ニ選ハル、法制審
議會特別委員被仰付、京都市ニ於テ商工務所ヲ經營ス、借地借
家調停委員、金錢債務臨時調停委員タリ○當選二回(14 20)

宮崎一

埼玉縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士



明治十九年十一月浦和市ニ生ル、東京帝國大學法科大學英法科
卒業○辯護士ヲ開業、現ニ其事業ニ從事ス、曩ニ浦和町會議員、
埼玉縣會縣員、同議長、浦和辯護士會長ニ推薦セラル○當選三
回(18 19 20)

宮澤清作

宮城縣第一區選出、立憲政友會
正七位勳四等、辯護士



明治十一年四月宮城縣宮城郡多賀城村ニ生ル、日本大學卒業○
判檢事登用試驗ニ合格ス、裁判所書記、司法官試驗ヲ經テ判事
ニ被任、宇都宮地方、栃木區、仙臺區、仙臺地方各裁判所判事
ニ補セラル、後辯護士トナル、仙臺辯護士會會長、四度宮城縣
會議員、同參事會員ニ舉ケラル、財政審議會委員、臨時縣治調
査會委員、鹽釜築港施設調査會委員、東北振興調查會委員、
經濟緊縮委員等ヲ囑託セララル、東北振興調查會委員、
度調査會委員被仰付○紺綬褒章ヲ賜ハル○當選四回(17 18 19 20)

村上國吉

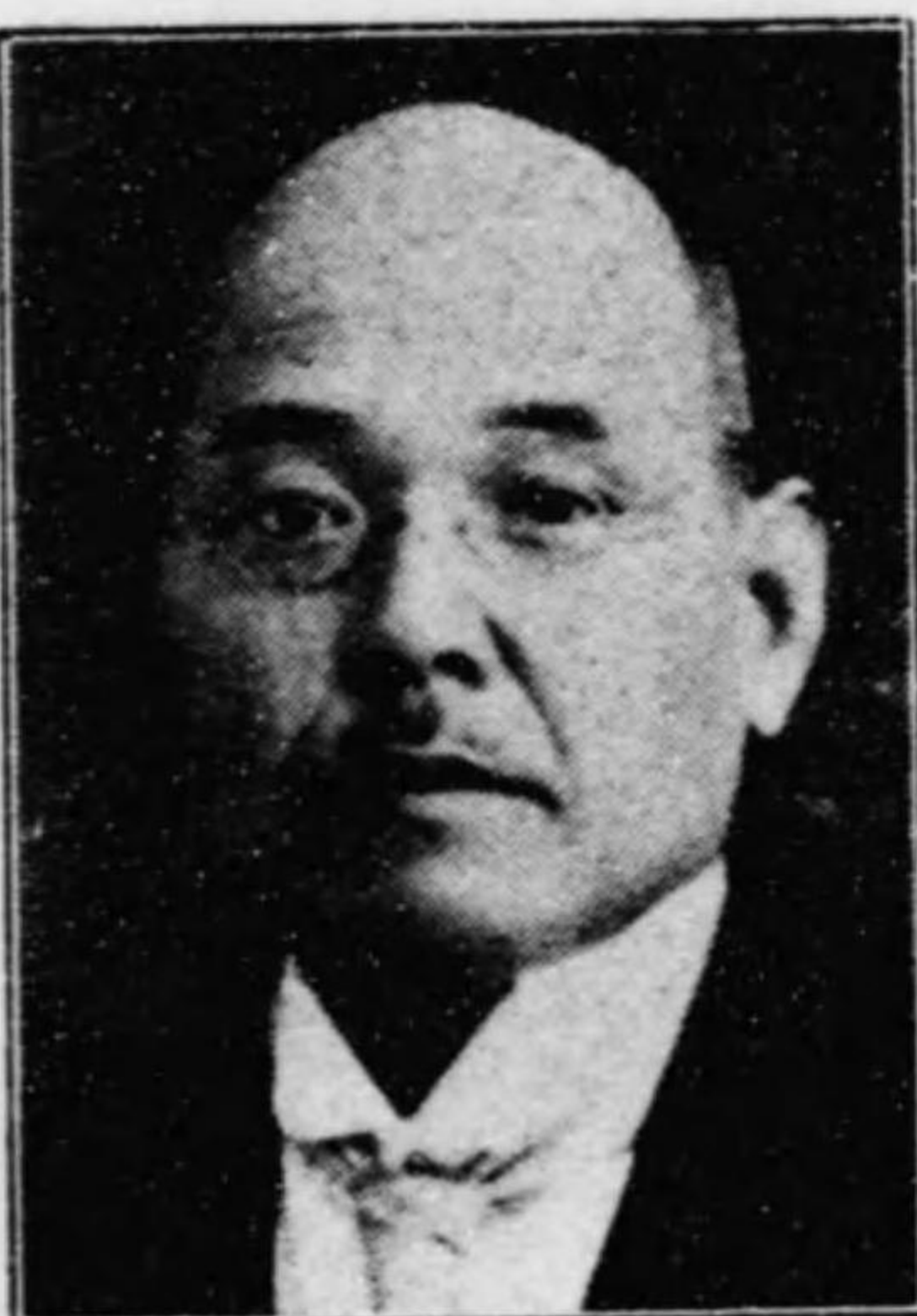
京都府第三區選出、立憲民政黨農



明治九年一月京都府何鹿郡吉美村ニ生ル、大阪府立農學校卒業
○農事試験場技手、同場長、農事巡回教師、公立學校教諭ニ被
任、綾部町會議員、何鹿郡會議員、同議長、京都府會議員、同
參事會員ニ選ハル、又郡農會議員、同議長、府農會議員、同
議長、帝國農會評議員、農林省囑託等トナル、現ニ何鹿郡農
會長、同養蠶業組合長、京都府農會議員、同養蠶業組合聯合會
評議員タリ、村上農園ヲ經營ス、國有財産調査會委員被仰付○
當選五回(15 16 17 19 20)

村上紋四郎

愛媛縣第二區選出、立憲民政黨勳四等、水産業



慶應二年八月愛媛縣越智郡宮窪村ニ生ル○宮窪村長トナル、縣
會議員、同參事會員、同議長ニ舉ケラル、又今治稅務署管内所
得調査委員、同地價修正調査委員、土地收用審査委員、地方森
林會議員、愛媛縣遠海出漁團體聯合會副會長トナル、愛媛縣水
産組合長、越智郡水産會長タリ、今治市長ニ選ハル○當選五回
(15 17 18 19 20)

村瀬武男

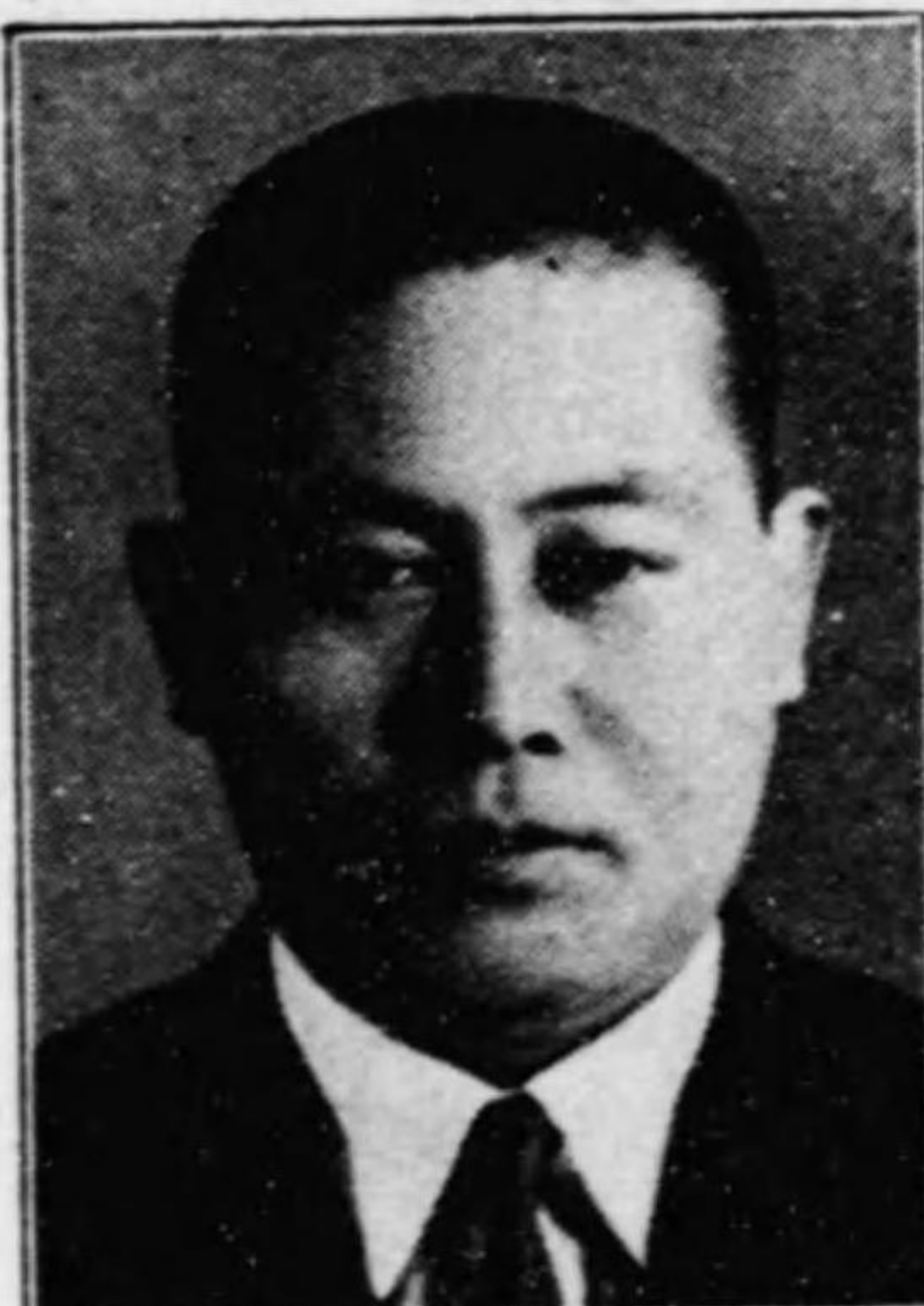
愛媛縣第二區選出、立憲民政黨勳七等



明治十二年五月愛媛縣越智郡大井村ニ生ル、廣島修道學校卒業
○日露ノ役ニ從軍ス、大井村助役トナル、屢、愛媛縣會議員ニ
選ハレ、副議長、議長ニ舉ケラル、又多年大井村長ノ職ニ在
リ、愛媛縣農會副會長、越智郡農會議員、同副會長等トナル、
現ニ愛媛縣農會議員、越智郡農會長、同郡今治市畜産組合長、
愛媛縣山林會郡支會長、同郡畜産組合長タリ○當選一回(20)

村松久義

宮城縣第二區選出、立憲民政黨從七位勳四等、辯護士



明治三十一年七月仙臺市ニ生ル、東京帝國大學法學部及經濟學
部卒業○司法官試補、檢事代理ヲ命セラル、名古屋地方裁判所
判事ニ任セラル、後辯護士トナリ現ニ其業務ニ從事ス、曩ニ陸
軍三等計手ニ任セラル○當選三回(18 19 20)

紫安新九郎

大阪府第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等



明治六年八月兵庫縣城崎郡田鶴野村ニ生ル、早稻田大學政治科
卒業○鎮西日報主筆、萬朝報記者トナル、後大阪市商工課長、
同南區長ヲ被命、出羽石油株式會社、城東土地株式會社各取締
役トナル、又大藏省副參政官、拓務政務次官ニ被任、宗教制度
調査會委員、資源審議會委員、預金部資金運用委員會臨時委員
12關稅調查委員會委員、米穀調查會委員ヲ被仰付○當選九回(11
13
14
15
16
17
19
20)

最上政三

群馬縣第二區選出、立憲民政黨
著述業



明治二十四年八月高崎市ニ生ル、中央大學法律科卒業○政治部
記者トシテ萬朝報社ニ入社、日獨戰役ニ第三師團從軍記者トシ
テ西比利亞ニ派遣セラル、同社政治部長トナル、政治及經濟學研
究ノ爲歐米諸國ニ留學ス、著述業ニ從事ス○當選三回(17 19 20)

望月圭介

廣島縣第二區選出、第一議員俱樂部
正三位勳一等



慶應三年二月廣島縣豐田郡東野村ニ生ル、英學及政治經濟學ヲ
學フ○農商務省參事官ニ任セラル、臨時財政經濟調查會委員、
神社制度調查會委員被仰付、又再度遞信大臣、內務大臣ニ任セ
ラル、內閣審議會委員被仰付、支那及朝鮮ヲ視察ス、又浦鹽派
遣軍慰問ノ爲西比利亞ニ派遣セラル○永年在職議員トシテ院議
表彰セラル○當選十三回(6 8 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20)

栗山博

福島縣第一區選出、立憲民政黨
正五位、著述業

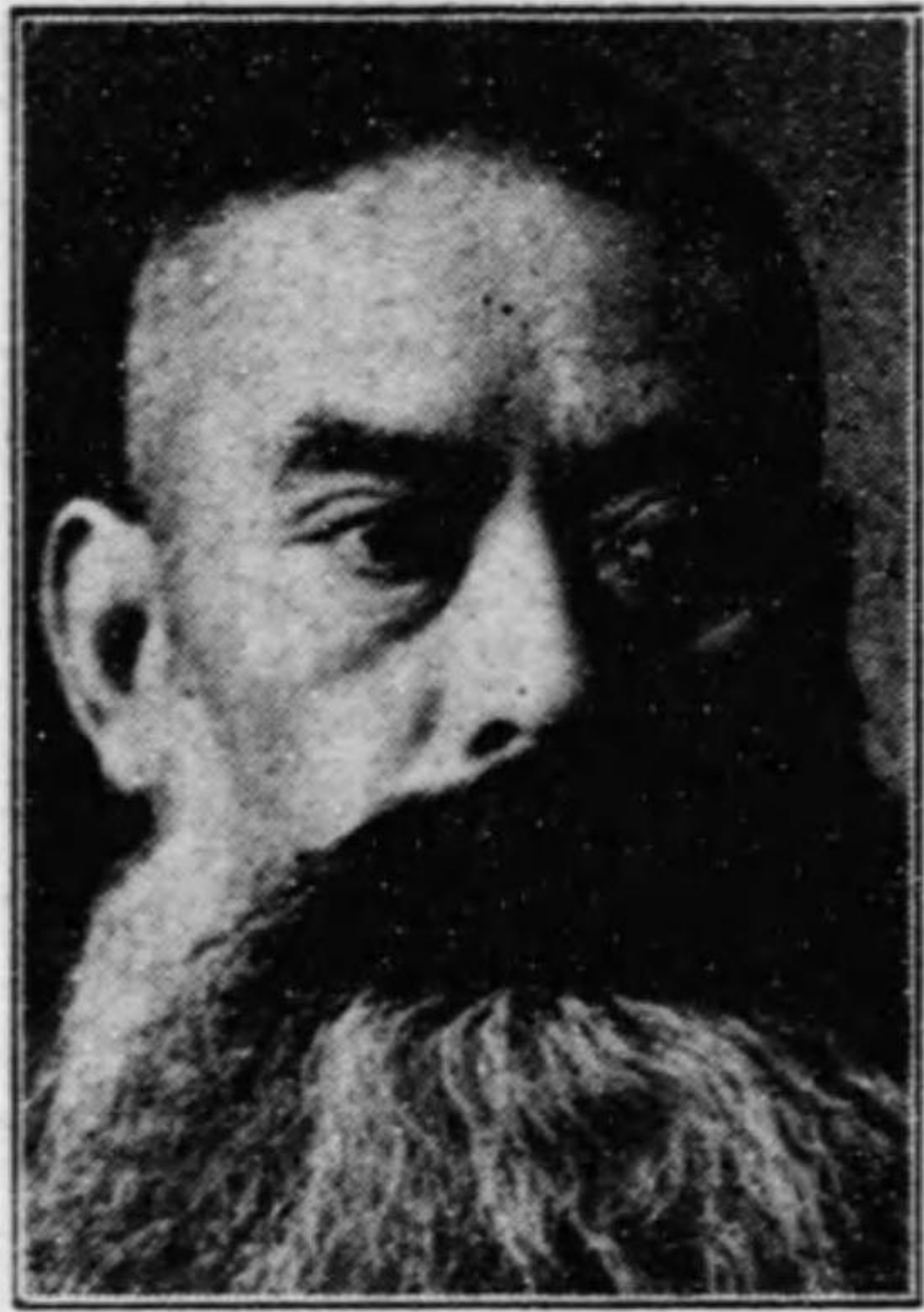


明治十七年十月福島縣安積郡富久山町ニ生ル、早稻田大學政治
經濟科卒業後米國州立加州大學及「ノースカロライナ」大學院卒
業「マスター・オブ・アーツ」ノ學位ヲ受ク○海軍參與官ニ被任、
兵役義務者及廢兵待遇審議會委員、石油業委員會委員被仰付、
鮮滿蒙古方面ヲ視察ス○當選六回(14 15 16 17 19 20)

百瀬渡

長野縣第四區選出、
勳四等、新聞社長、
立憲民政黨

二一八



明治七年二月長野縣東筑摩郡中山村ニ生ル○信濃毎日新聞、信濃自由新聞、信濃日報各記者トナル、日露戰役ニ從軍ス、東筑摩郡會議員、同參事會員、長野縣會議員、同參事會員ニ選ハル、信濃日報社長タリ、長野縣種籾審査委員、同道路調査會委員、同教育調査會委員、同稅制調査會委員、同蠶絲業調査會委員等ヲ囑託セラル、國有財産調査會委員被仰付○當選四回(17 18 19 20)

守屋榮夫

宮城縣第一區選出、
從四位勳三等、辯護士、
第一議員俱樂部



明治十七年十一月宮城縣遠田郡富永村ニ生ル、東京帝國大學法科大學獨法科卒業○千葉縣、愛知縣各理事官、內務省監察官兼內務省參事官、地方局府縣課長、朝鮮總督府庶務部長、同府參事官、總督官房秘書課長、朝鮮總督府庶務部長、社會局部長ニ歷任シ、社會部長等ニ補セラル、又農林政務次官ニ被任、米穀統制委員會、農村經濟更生中央委員會、關稅調查會、馬政調查會、輸出生絲販賣統制調查會、米穀對策調查會、東北振興調查會、社會保健調查會、勞働保險調查會、東北興業株式會社設立各委員被仰付、歐米各國へ出張ス、瑞西國ニシテ海軍經理學校第七回國際勞働總會ニ政府代表委員被仰付、現ニ海軍經理學校講師、海外移住組合聯合會理事、中央朝鮮協會理事、日本青年團參與、中央教化團體聯合會參與、大東文化協會理事タリ、健康保險調査會委員被仰付○當選五回(16 17 18 19 20)

盛島明長

沖繩縣選出、
醫、
立憲政友會



明治十三年十二月沖繩縣ニ生ル、長崎醫學專門學校卒業○小學校訓導ヲ命セラル、後醫業ヲ開ク、屢、沖繩縣會議員ニ當選、副議長、議長ニ舉ケラル、又宮古郡織物同業組合長トナル、宮古郡醫師會長、同砂糖同業組合長タリ○當選二回(19 20)

森榮藏

奈良縣選出、
會社重役、
立憲政友會



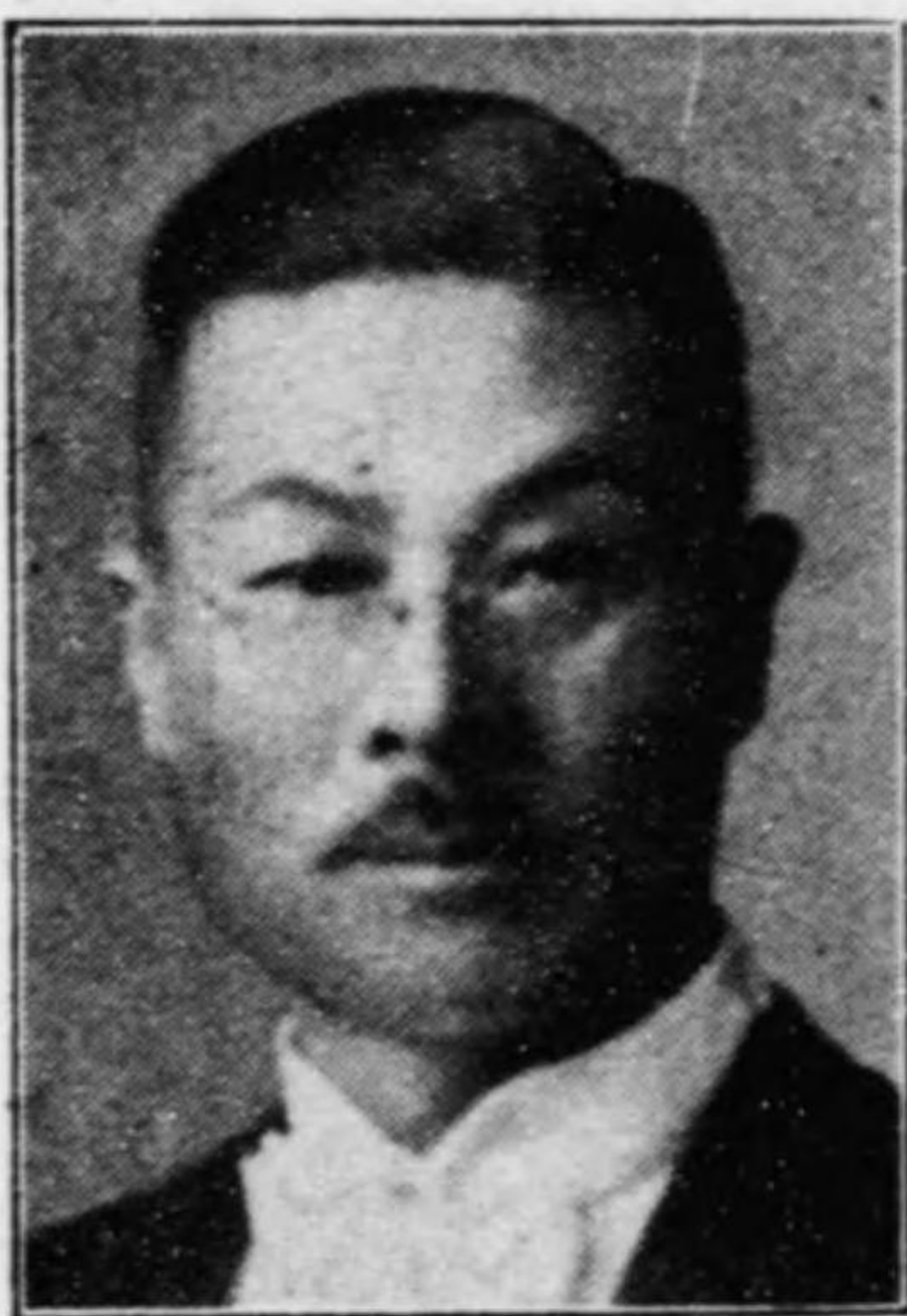
明治六年十月奈良縣吉野郡大淀村ニ生ル○吉野郡會議員、同參事會員、奈良縣會議員ニ選ハル、所得稅調査委員、大淀村長トナル、又株式會社吉野鐵道監査役、同大和鐵道、同南和鐵道各取締役、吉野製藥株式會社取締役社長、株式會社森組取締役タリ○當選一回(20)

第一編 議員履歷(もノ部)

二一九

森 幸太郎

滋賀縣選出、立憲政友會
農



森 肇

長崎縣第二區選出、第一議員俱樂部
正五位勳四等、農



明治二十二年七月滋賀縣東淺井郡竹生村ニ生ル○滋賀縣蠶種同業組合長、同養蠶業組合長、大日本蠶絲會特別議員、近江米同業組合評議員、郡農會會長、縣農會評議員、帝國農會代議員、縣水産組合會長、郡畜産組合長、家畜保險組合理事、其他各種組合役員、土地貸付價格調査委員、經濟振興調査委員、土地收用委員、主要農産物品種改良統制委員等トナル、又村會議員、縣議員、主要農産物品種改良統制委員、多年蠶種絲製造販賣會、縣議員、同參事會員ニ選ハル、縣養蠶組合聯合會會長、大日本蠶絲會特別議員、國水産會代議員、縣養蠶組合聯合會會長、大日本蠶絲會特別議員、タリ○當選二回(1920)

明治六年十月長崎縣北松浦郡御厨村ニ生ル、東京專門學校政治經濟科卒業○小學校教員、長崎日報、長崎日日新聞編輯、同主筆、長崎新聞總顧問兼主筆トナル、又長崎縣會議員、同參事會員ニ選ケラル、都市計畫局長、地方委員會委員、農林參事、與官ニ任セラレ、米穀對策調査委員會臨時委員、米穀統制委員會委員、農村經濟更生中央委員會委員、米穀統制委員會理事、鮮滿蒙古支那方面ヲ視察ス○當選五回(15 16 18 19 20)

森 下 國 雄

栃木縣第二區選出、立憲民政黨
著述業



明治二十九年六月栃木縣安蘇郡野上村ニ生ル、早稻田大學政治科卒業後歐米ニ留學ス○野州新聞主筆、同社取締役タリ、著述業ニ從事ス、屢、南北支那ヲ視察ス○當選二回(1920)

森 田 重 次 郎

青森縣第一區選出、立憲民政黨
辯護士



明治二十三年五月青森縣上北郡浦野館村ニ生ル○教育科中等教員ヲ免許セラレ、辯護士試驗ニ合格ス、曩ニ青森縣上北郡木々内、天間館各尋常高等小學校訓導、木々内尋常高等小學校訓導兼校長、東京市東盛尋常小學校訓導、上北郡城内尋常高等小學校訓導兼校長タリ、現ニ辯護士ノ業務ニ從事ス○當選一回(20)

森田福市



廣島縣第三區選出、立憲政友會
勳四等、會社重役

明治二十三年六月廣島縣神石郡牧村ニ生ル、日本大學法科ニ學
フ○廣島市會議員、同縣會議員、同副議長ニ學ケラル、貴族院
議員(多額)ニ勅任セララル、森田工業株式會社外十數會社重役ト
ナル、現ニ廣島商業會議所會頭、社団法人帝國發明協會廣島支
部長、廣島縣下商工團體聯合會會長、廣島水産、日榮産業、日東
鑛業汽船各株式會社取締役會長、早山石油株式會社取締役タリ、
鑛業法改正調査委員會委員被仰付、廣島縣防空委員會委員被命、
列國議會同盟會議並萬國議院商事會議ニ參列シ歐米各國ヲ視察
ス○當選二回(18、20)

八木逸郎



奈良縣選出、立憲民政黨
勳三等、會社重役

文久三年九月奈良市ニ生ル、東京醫科大學別科修業後、獨逸ニロ
ストック大學卒業、トクトル・メヂチーネノ學位ヲ受ク○東
京帝國大學醫科大學附屬第一醫院副手トナル、縣會議員、同參
事會員ニ學ケラル、日本醫師共濟生命保險相互會社事務取締役
タリ、中央統計委員會委員、宗敎制度調査委員會委員、實業教育振興
委員會委員、紀元二千六百年祝典評議委員會委員、實業教育振興
委員會委員被仰付○當選十回(10、11、13、14、15、16、17、18、19、20)

八角三郎



岩手縣第一區選出、立憲政友會
正四位勳二等功五級、官吏

明治十三年十二月盛岡市ニ生ル、海軍兵學校、海軍水雷學校、
海軍大學校卒業○海軍少尉ヨリ累進海軍中將ニ被任、其間日露
戰役ニ從軍ス、又海軍軍令部、遣支艦隊各參謀、支那公使館附
武官、軍艦利根、三笠、磐手、金剛各艦長、第一第二水雷戰隊
各司令官、海軍水雷學校長、大湊要港部司令官ニ被補、大戰後
ノ歐米視察ヲ命セララル、東北興業株式會社設立委員、臺灣拓殖
株式會社設立委員、鐵道會議員、海外拓殖委員會委員、關稅調
査委員會委員被仰付、現ニ拓務政務次官タリ○支那共和國ヨリ
三等文虎章及二等嘉禾章、伊太利國ヨリ「コンマンドル」・クロ
ンヌ」勳章ヲ贈ラル○當選三回(18、19、20)

八並武治



東京府第七區選出、立憲民政黨
從四位勳三等、辯護士

明治十二年十二月大分縣下毛郡鶴居村ニ生ル、東京帝國大學法
科大學獨法科卒業○遞信大臣祕書官、司法參與官ニ任セララル、
大禮使典儀官被仰付、再度司法政務次官ニ被任、米穀調査會臨
時委員、法制審議會委員、選舉制度調査會委員被仰付○當選六
回(14、15、17、18、19、20)

矢野庄太郎

香川縣第二區選出、立憲民政黨
從六位勳四等、會社員



明治十九年一月香川縣三豐郡桑山村ニ生ル、明治大學法學部卒業
業○文官高等試驗ニ合格、臺灣總督府屬、香川縣警部、同警視、
香川縣木田郡長ニ歷任ス、勝光山クレイ合資會社代表社員タリ、
國產振興委員會委員被仰付○當選四回(17 18 19 20)

山川頼三郎

兵庫縣第五區選出、立憲政友會
勳七等、農



明治六年七月大阪府豐能郡歌垣村ニ生ル○養蠶製絲教師、日野
製絲株式會社現業部長、同工業長トナル、三等郵便局長ニ被任、
福住郵便局長ヲ命セラル、屢、福住村長、同村會議員、多紀郡
會議員、兵庫縣會議員、同郡部會副議長、縣參事會議員、村農會
長、郡農會副會長、縣農會議員ニ選ハル、又所得調査委員、土地
賃稅價格調査委員、家屋稅調查委員、縣山林會評議員、同理事、
全國山林會聯合會參與、地方森林委員、縣森林組合聯合會會長、
福住信用販賣購買組合理事、同施業土木森林組合長等トナル○
當選一回(20)

山口忠五郎

靜岡縣第一區選出、立憲政友會
勳四等、農



明治十五年一月靜岡縣志太郡西益津村ニ生ル○村長、村會議員、
郡會議員、縣會議員、同參事會議員、同副議長、同議長ニ擧ケラ
ル、現ニ縣茶業聯合會々頭、縣畜産組合聯合會會長、茶業組合中央會
員、縣茶業聯合會々頭、縣畜産組合聯合會會長、茶業組合中央會
會長、郡柑橋同業組合長、遠州銀行、帝國農會議員、縣消防組合
議員、所得審査委員、遠州銀行、藤枝合同運送、藤相鐵道、靜岡新
報社各株式會社其他數會社ノ取締役タリ、靜岡縣防空委員會委
員被命○當選四回(16 18 19 20)

山崎 釵二

靜岡縣第二區選出、社會大衆黨
著述業



明治三十五年九月靜岡縣駿東郡御殿場町ニ生ル○無産階級解放
運動ニ携ハリ、全國農民組合中央委員トナル、沼津市會議員、靜
岡縣會議員ニ選ハル、靜岡産業通信社ヲ創立シ「靜岡産業通信」
ノ發行ニ從事ス○當選二回(19 20)

山崎達之輔

福岡縣第三區選出、第一議員俱樂部
從三位勳一等



明治十三年六月福岡縣三潞郡川口村ニ生ル、京都帝國大學法科大學卒業○臺灣總督府屬、臺灣總督府參事官、文部省參事官、文部書記官、文部省實業學務局長、同普通學務局長、文部政務次官ニ歴任ス、再度農林大臣ニ任セラレ、逓信大臣ヲ兼任ス、中央衛生會委員、臨時國語調查會委員、教員檢定委員會常任委員、學校衛生調查會委員、衆議院議員選舉法調查會委員、恩給審査會委員、人口食糧問題調查會臨時委員、宗教制度調查會委員、衆議院議員選舉法正審議會委員、文政審議會委員、米穀統制調査委員、議院制度調査會委員被仰付○當選六回(15 16 17 18 19 20)

山崎常吉

愛知縣第一區選出、第一議員俱樂部
文房具製造業



明治二十四年一月高知縣香美郡夜須村ニ生ル○愛國從業員組合總聯盟會長、愛國勞働組合全國懇話會中部地方委員長トナル、愛知縣會議員ニ選ハル○當選一回(20)

山道襄一

廣島縣第二區選出、立憲民政黨
正五位勳三等



明治十五年三月廣島縣賀茂郡坂城村ニ生ル、早稻田大學政治經濟科卒業○日本再建論ニ著書アリ○韓國政府ノ囑託トナリ、韓國風俗慣行調査事務ニ從フ、又統監府囑託トナリ、舊慣事務取調ニ從事ス、支那西北利亞方面ニ漫遊スルコト數回、又列國議會同盟會議ニ參列ス、文部參事官、鐵道政務次官ニ任セラレ、宗教制度調査會、人口食糧問題調查會、社會事業調査會、電氣事業調査會、國際觀光委員會、度量衡制度調査會、地方制度調査會各委員、鐵道會議議員被仰付○當選十回(11 12 13 14 15 16 17 18 19 20)

山田清

東京府第六區選出、立憲民政黨
醫



明治二十三年八月千葉縣市原郡高瀧村ニ生ル、東京慈惠會醫科大學卒業○東京市會議員、同參事會員ニ選ハル、自動車製造業委員會委員被仰付、自動車營業改善調査委員會委員ヲ命セラル、現ニ東京市會議員、全國自動車業聯合會長、東京自動車業聯合會長タリ○當選一回(20)

山田順策

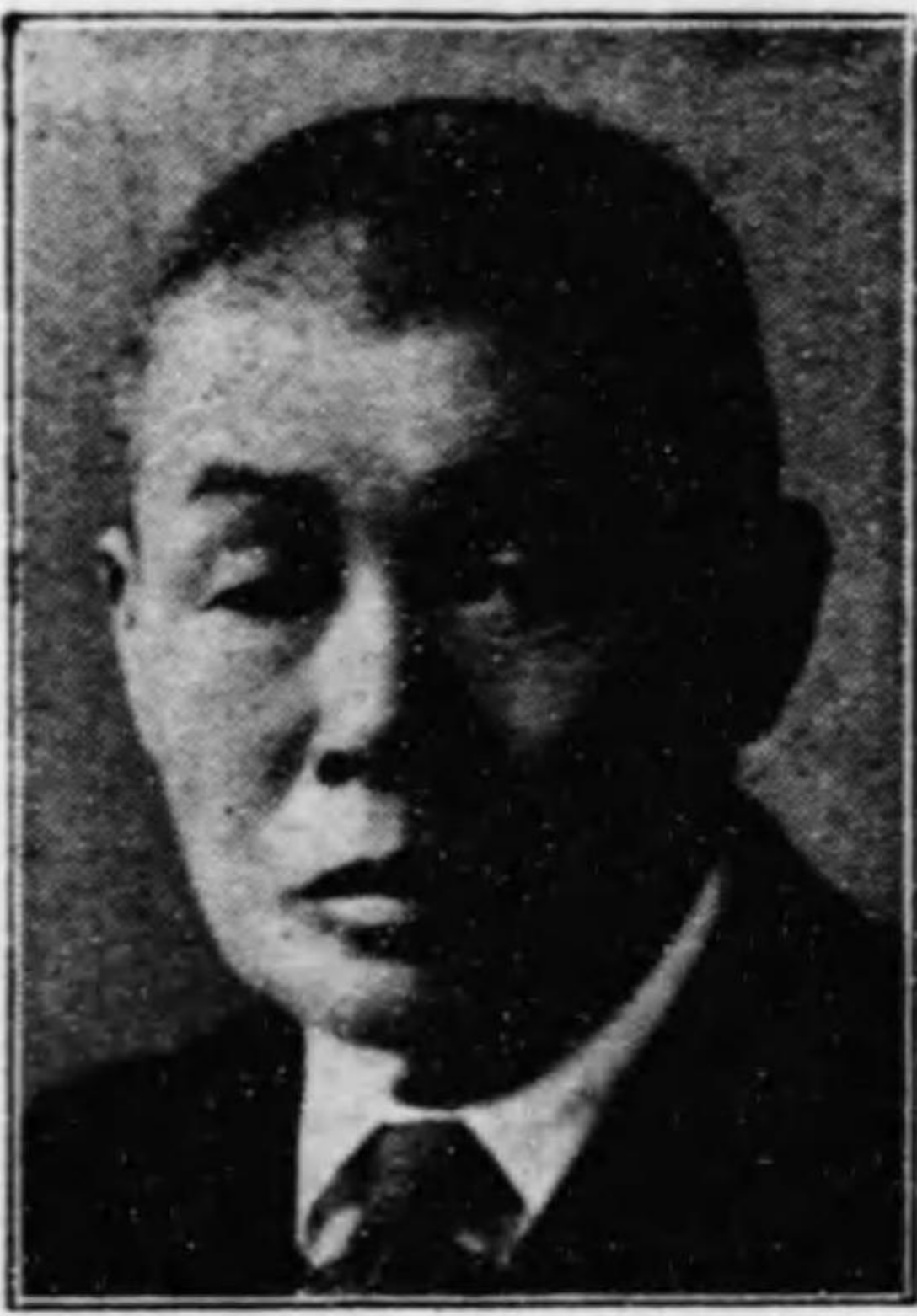
靜岡縣第一區選出、立憲民政黨
齒科醫



明治二十年二月靜岡縣庵原郡西奈村ニ生ル、東京齒科醫學專門學校卒業○東京齒科醫學專門學校助手トナル、靜岡市會議員、靜岡縣會議員ニ選ハル、靜岡縣齒科醫師會長、同會健康保險部長ニ推サル、靜岡市商工會議所議員、社團法人日本乗合自動車協會副會長、靜岡縣乗合自動車協會會長、靜岡運輸事務所管内構内自動車營業組合長タリ○當選一回(20)

山田六郎

福島縣第三區選出、立憲民政黨
農



明治六年三月福島縣雙葉郡上岡村ニ生ル○郡書記ニ被任、屢上岡村會議員、福島縣會議員ニ選ハル、三度上岡村長ニ就任ス、製絲株式會社ヲ創立シ專務取締役トナル、雙葉郡養蠶業組合長、全國養蠶業組合聯合會議員、福島縣養蠶業組合聯合會長、雙葉郡農會會長、日本蠶絲中央會議員、福島縣信用組合聯合會理事、帝國耕地協會理事タリ○當選一回(20)

山枡儀重

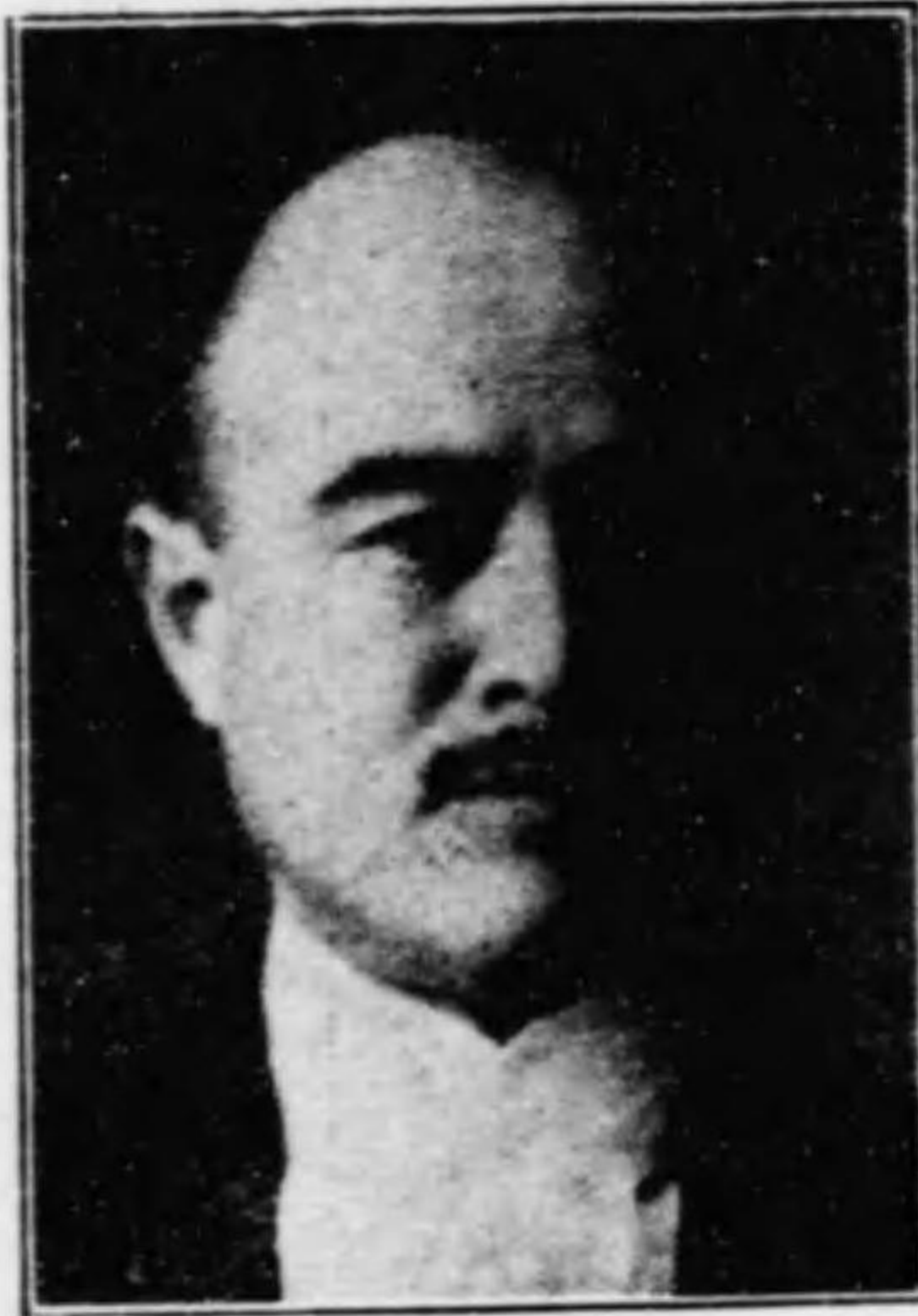
鳥取縣選出、立憲民政黨
正五位勳四等



明治二十二年四月鳥取縣東伯郡倉吉町ニ生ル、京都帝國大學文部省理財學科畢業、歐米革新教育の實際ニ歐米政治行脚ニ私利財產制度と國家社會主義等ノ著アリ○愛知縣第一師範學校教諭、大阪市視學ニ任セラル、社會事業調查會臨時委員ヲ囑セラル、文部省囑託、内閣總理大臣秘書官、文部參與官ニ任セラル、教育狀況及政治事情視察ノ爲再度歐米各國ヲ歴遊ス、委員書調查會委員、臨時度量衡制度調查會委員、體育運動審議會委員、國語審議會委員、度量衡制度調查會委員、宗教制度調查會委員、議院制度調查會委員被仰付、實業教育振興委員會委員ヲ囑セラル○當選五回(15 17 18 19 20)

山本厚三

北海道第一區選出、立憲民政黨
正五位勳三等



第一編 議員履歷(やノ部)

明治十四年五月飯田市ニ生ル、東京高等商業學校卒業○陸軍三等主計ニ任セラル、小樽商會、小樽市會、同倉庫業組合長、小樽日本汽船、小樽倉庫、北海道製綿株式會社、同倉庫業組合長、北日本乳製品、定山溪鐵道各株式會社、同倉庫業組合長、開會社、地方委員、山田鐵道株式會社、同倉庫業組合長、計畫北海道地方委員、石油業委員會、北海道拓殖計畫調查會、各委員被仰付、文部省次官ニ被任、國語審議會、體育運動審議會、宗教制度調查會、再度支那ヲ視察ス○當選七回(14 15 16 17 18 19 20)

山本 悌二郎

新潟縣第一區選出、立憲政友會
正三位勳一等



山本 芳治

大阪府第二區選出、立憲政友會
勳四等、辯護士



明治三年一月新潟縣佐渡郡新町ニ生ル、獨逸「ライプツヒ」大學ニ學ビ「ドクトル」オブ「フイロソフイ」エツト「ボナルムアル」チウム・マギステルノ學位ヲ受ク○第二高等學校教授、日本勸業銀行鑑定課長トナル、糖業聯合會會長、臺灣製糖株式會社、南國産業株式會社取締役、社長其他數會社ノ取締役又ハ監査役トナル、衆議院議員選擧法改正委員會各委員被仰付、農林大臣ニ米穀委員會預金部資金運用委員會委員被仰付、農林大臣ニ被任、行政制度審議會委員、經濟審議會副會長被仰付、再度農林大臣ニ任セラレ○製糖事業ノ功勞ニ依リ藍綬褒章、公益ノ爲私財寄附ノ廉ニ依リ紺綬褒章ヲ賜ハル○永年在職議員トシテ議表彰セラレ○當選一回(9) 10 11 12 13 14 15 16 18 19 20)

行 吉 角 治

岡山縣第一區選出、立憲政友會
會社重役



明治二十三年六月岡山縣和氣郡香登町ニ生ル○通信事業ヲ經營シ、株式會社聯合通信社取締役社長トナル、又善光寺登山鐵道株式會社重役、行吉商事株式會社取締役社長、株式會社日本建材工業所取締役社長トナル、支那事變ニ際シ皇軍慰問ノ爲北支那へ派遣セラレ○當選二回(19 20)

横 川 重 次

埼玉縣第二區選出、立憲政友會
從五位勳四等、農



明治二十七年十一月埼玉縣比企郡大河村ニ生ル、早稻田大學哲學科卒業後伯林大學ニ於テ社會學ヲ專攻ス○大河村會議員、同村學務委員ニ舉ケラル、大河村信用組合長、武州本場絹織物同業組合長、比企郡販賣利用組合長、同郡蠶絲業團體聯合會會長、第八十五銀行取締役、小川無盡株式會社社長、小川本場絹織物工業組合理事長、全國乾滿販賣株式會社聯合會副會長トナル、商工大臣秘書官ニ任セラレ、大河村會議員タリ○當選五回(15 17 18 19 20)

吉植庄亮

千葉縣第二區選出、立憲政友會



米窪滿亮

兵庫縣第二區選出、社會大眾黨



明治十七年四月千葉縣印旛郡本埜村ニ生ル、東京帝國大學法學部經濟學科卒業、歌集「寂光」ニ「煙霞集」「さくらば」ニ「吉植庄亮集」ノ著アリ、中央新聞文藝部長トナル、本埜村下井、埜原及安食町大洲各耕地整理組合長、本埜村農會議長、同會會長、同村會議員、印旛郡農會代議員、千葉縣耕地協會評議員、本埜村豫防組合議長、同治水會長、千葉縣耕地協會常務委員タリ、歌集「寂光」ヲ發行、主筆ス、又原野開墾事業ヲ營ミ、水田六十二町歩、畑六町歩ヲ完成、後山形、富山、兵庫、千葉各縣ヨリ移民ヲ入レ自作ヲ十五町歩ニ減ス、農村青年學校ヲ創設ス、○當選二回(1920)

依光好秋

高知縣第二區選出、立憲政友會



明治二十七年八月高知縣幡多郡奥内村ニ生ル、專修大學經濟部及東京貿易語學校露語科卒業、○東京毎夕新聞、讀賣新聞各政治部記者トナル、朝鮮總督府秘書課主管事務囑託、内閣總務課囑託トナル、朝鮮總督秘書官ニ任セラル、産業組合新報社長、滿洲安東省金廠鑛山會社常務取締役タリ、○當選二回(1820)

若宮貞夫

兵庫縣第五區選出、立憲政友會



第一編 議員履歷(よ、わノ部)

明治八年一月兵庫縣城崎郡豐岡町ニ生ル、東京帝國大學法科大學卒業、○遞信書記官、遞信省管船局長兼地方海員審判所長、遞信省官、遞信局長、遞信省管船局長、高等海員審判所長、遞信省改、陸軍政務次官ニ歴任、軍需局長、其他數種ノ委員參與、臨時條約、帝國經濟會議々々被仰付、航空事業調査會其他數種ノ委員參與、臨時條約ナル、鐵道會議臨時議員、臨時海軍法會調查會、同協理、無線電技術者、正委員、社會法人電信協會會長、同協理、無線電技術者、講習所長トナル、製鐵事業調査會、船管、小運送制度調査會、穀對策調査會、選舉制度調査會、船管、小運送制度調査會、員ヲ各委員被仰付、社會事業調査會、船管、小運送制度調査會、員ヲ各委員被仰付、○當選六回(151617181920)

渡邊玉三郎

愛知縣第三區選出、立憲民政黨
毛織物製造業



渡邊泰邦

北海道第三區選出、東方會
會社員

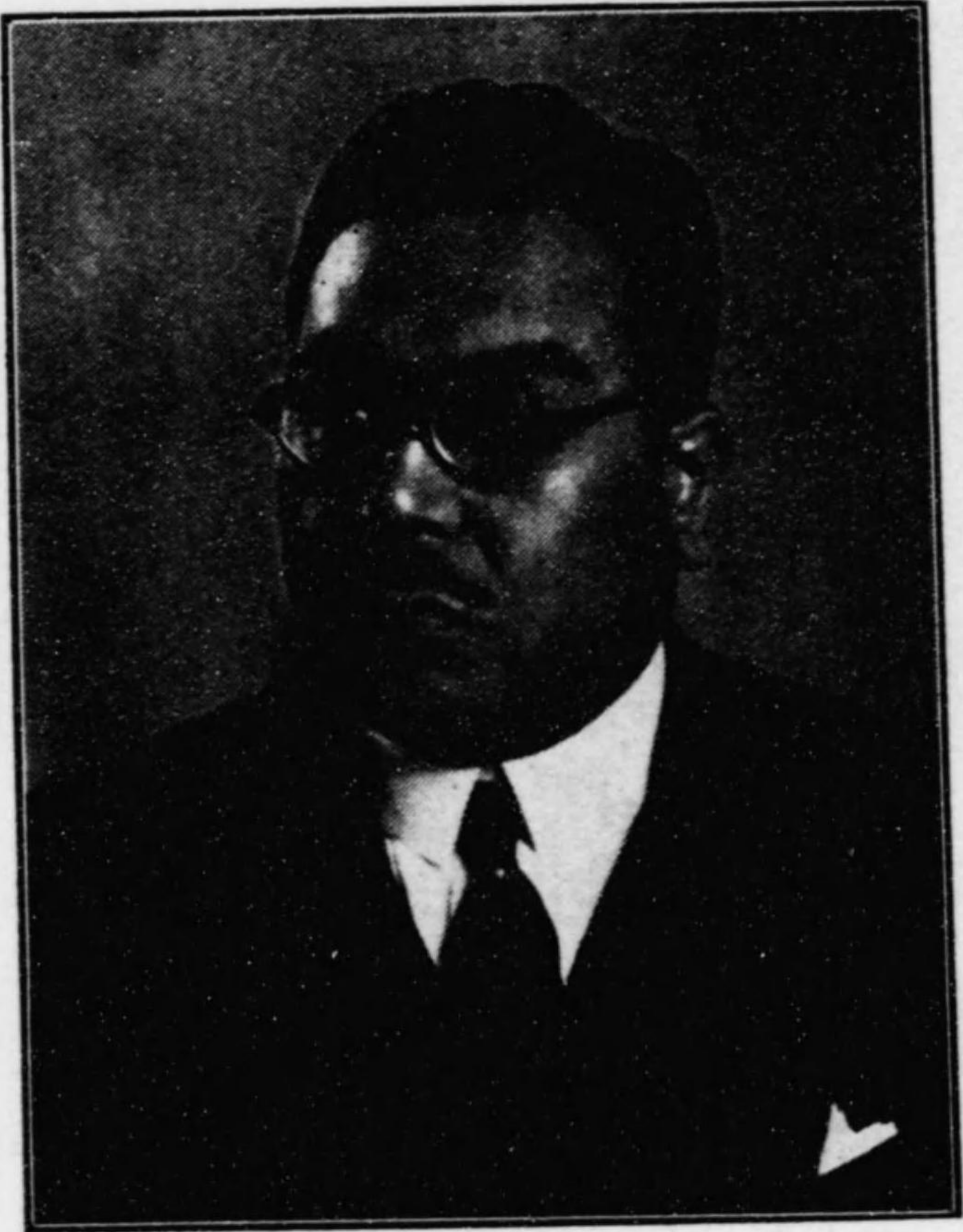


明治十七年一月愛知縣中島郡起町ニ生ル○起町商工會長、尾西
織物同業組合組長、愛知縣織物同業組合聯合會組長、日本織物
中央會副會頭、全國工業組合中央會幹事トナル、愛知縣會議員、
同參事會會員、所得調査委員ニ選ハル、又再度起町長ニ就任ス、
起町農會會長、尾西セル工業組合理事長、工業組合顧問、大日本
尾西織物同業組合顧問、愛知縣毛織工業振興委員會委員、保
業組合聯合會顧問、愛知縣毛織工業振興委員會委員、保
起町信用販賣購買利用組合長タリ、米國及滿洲國ヲ視察ス○當
選二回(1920)

明治二十四年八月函館市ニ生ル、早稻田大學ニ學フ○函館區會
議員、同市會議員ニ選ハル、支那及歐米各國ヲ視察ス、關稅調
査委員會委員被仰付○當選三回(17 19 20)

書記官長及書記官履歷

書記官長 田口 弼一 正四位勳二等、高等官一等



明治十五年十月大分縣宇佐郡糸口村ニ生ル、
東京帝國大學法科大學法律學科卒業○大分
縣大分郡長、大分縣理事官、衆議院書記官ニ
歴任シ昭和五年四月衆議院書記官長ニ任セラ
ル、曩ニ内務省參事官、臨時議院建築局事務
官、同書記官、行政裁判所評定官ニ兼任セリ、
又大禮使典儀官、衆議院議員選舉革正審議會
幹事、法制審議會臨時委員、議院制度調査會
委員、選舉制度調査會委員被仰付、西比利亞
及支那へ出張被仰付、又支那及歐米各國ニ再
度出張ヲ命セラル

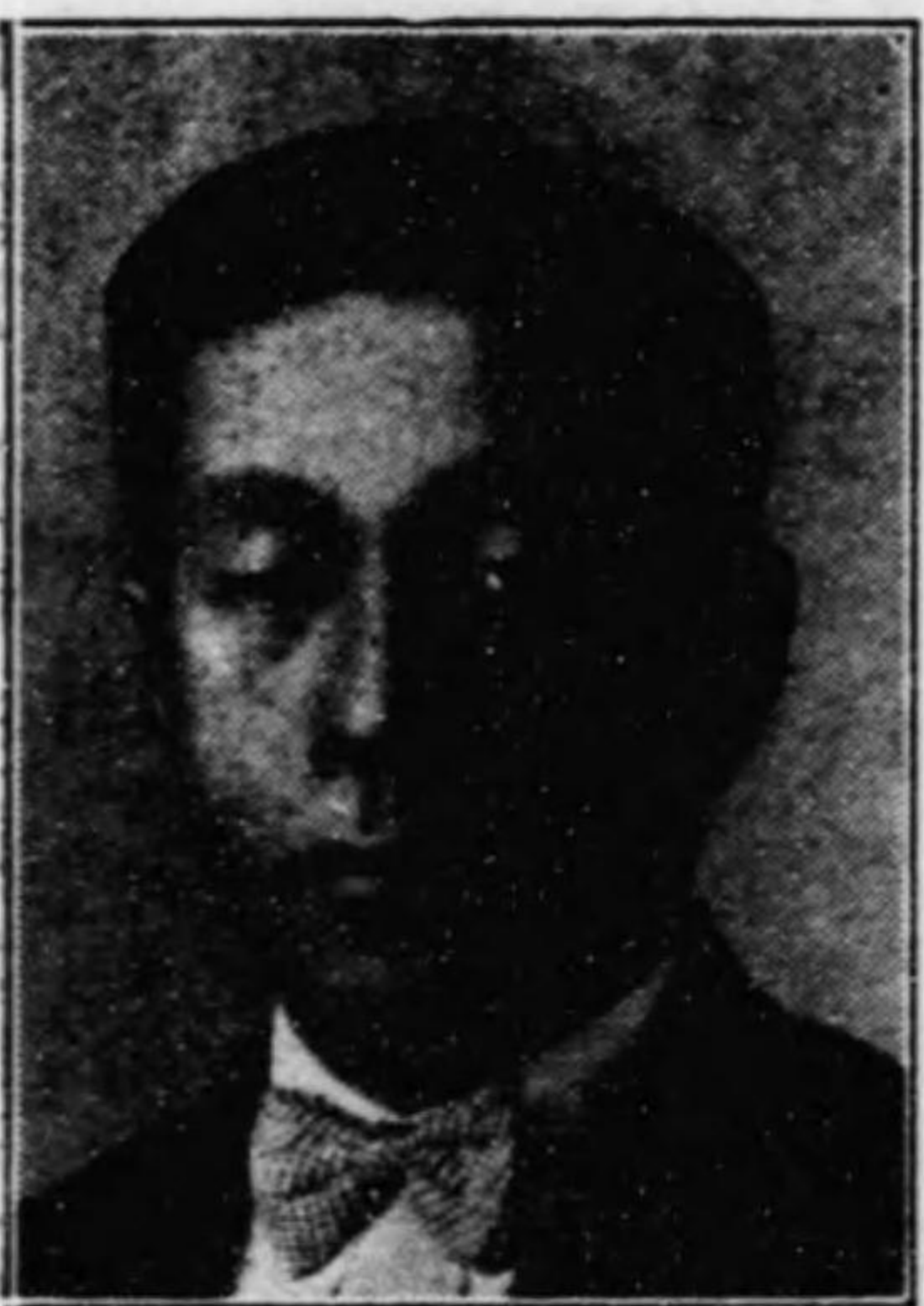
書記官 大木



操

從四位勳三等、高等官三等(勅任官待遇)
議事課長兼調查部第一課長

書記官 中御門 經民



正四位勳四等、男爵、高等官三等(勅任官待遇)
委員課長兼調查部第二課長

明治二十六年五月東京市ニ生ル、京都帝國大學政治經濟科卒業
○海軍省事務官兼拓殖局書記官ニ任セラレ、後拓務書記官ニ兼任セラ
ル、議院制度調査會幹事被仰付、臺灣、支那、香港、比律賓、英領北
ボルネオ、蘭領東印度諸島、英領海峽植民地、朝鮮及再度歐米各
國へ出張ヲ命セララル、現ニ委員課長兼調查部第二課長議事課兼
務タリ

書記官 大池 眞



正五位勳五等、高等官三等
庶務課長兼會計課長、調查部第三課長

明治二十九年一月長野縣東筑摩郡山形村ニ生ル、東京帝國大學
法學部政治科卒業○製鐵所副參事ニ任セララル、大正十四年四月
衆議院書記官兼商工事務官ニ任セラレ、昭和七年二月營繕管財
局書記官ニ兼任セララル、曩ニ臺灣、朝鮮、支那、南洋群島、比
律賓、香港及再度歐米各國へ出張ヲ命セララル、現ニ庶務課長兼
會計課長、調查部第三課長、速記課議事課委員課兼務タリ

書記官(兼) 安心院 助一



從五位勳五等、高等官三等
議事課勤務、委員課兼務

明治二十二年七月大分縣日田郡夜明村ニ生ル、大分縣師範學校
卒業○試驗檢定ニ依リ地理科、歷史科中等教員免許狀ヲ受ク、
文官高等試驗ニ合格ス、曩ニ大分縣師範學校教諭、福岡縣中學
校明善校教諭、私立成城中學校教員ニ歷任セリ、水産講習所教
授兼農林事務官ニ任セララル、昭和五年十二月衆議院書記官ニ兼
任セララル、現ニ議事課勤務委員課兼務タリ

書記官 西澤哲四郎

正六位、高等官四等
秘書課長兼調查部第四課長



明治三十六年七月京都市ニ生ル、東京帝國大學法學部法律科卒業○地方事務官ニ任セラレ鳥取縣内務部農務課長、同庶務課長、兼知事官房主事ヲ命セラル、昭和七年七月衆議院書記官ニ任セラレ、社會局事務官ニ兼任セラル、朝鮮、關東州、滿洲國、臺灣、南洋群島、比律賓、香港及歐米各國へ出張ヲ命セラル、現ニ秘書課長兼調查部第四課長、議事課委員課兼務タリ

書記官 渡邊捨雄

從六位、高等官五等
警務課長兼議事課、調查部第三課勤務



明治三十五年十一月廣島市ニ生ル、東京帝國大學法學部法律科卒業○福岡縣屬兼警部、地方事務官ニ任セラレ、山梨縣、石川縣ニ勤務、其間内務部地方課長、警察部建築工場課長、學務部學務課長兼社會教育課長ヲ命セラル、昭和十二年六月衆議院書記官ニ被任、中華民國及關東州へ出張ヲ命セラル、現ニ警務課長兼議事課、調查部第三課勤務タリ

書記官 鈴木隆夫

從七位、高等官七等
速記課長兼議事課、調查部第一課勤務



明治三十七年二月宮城縣角田町ニ生ル、東北帝國大學法文學部法律科卒業○警視廳巡查、衆議院守衛副長兼衆議院屬ヲ經テ昭和十二年六月衆議院書記官ニ任セラル、朝鮮、關東州及滿洲國へ出張ヲ命セラル、現ニ速記課長兼議事課、調查部第一課勤務タリ

議員選舉區別氏名

(「民」立憲民政黨、政「立憲政友會」議「民」俱樂部、社「社會大眾黨」第二「民」東「東方會」無「無所屬」)

府縣選舉區 氏

名黨派

府縣選舉區 氏

名黨派

府縣選舉區 氏

名黨派

東京府

京都府

議員選舉區別氏名

| | | |
|--|---|--|
| 三 | 二 | 一 |
| 安田淺賴 藤川沼母 大稻木 正吉次桂 純郎郎吉 政第三政民 | 長駒中鳩安 野井島山部 彌一磯 高重團 一次次郎雄 民民政社 | 本道高原河 家橋野 田齊義 義一義玉 成郎次重密 政第三民民社 |

| | | |
|---|---|-------------------------------------|
| 六 | 五 | 四 |
| 八田中山前鈴 並中村田木 武梅米文 治源吉清藏治 民政民民政社 | 牧三斯加麻 野輪波藤生 賤壽貞勘 男壯吉十久 政社民第三社 | 朴瀧眞阿 澤鍋部 春七儀茂 琴郎十夫 議政民社 |

| | | |
|-------------------------------|--------------------------------------|--|
| 三 | 二 | 一 |
| 津村芦 原上田 國 武吉均 民民政 | 田池川 本崎 中甚末 四五 好郎郎 政民民 | 江西福中水 羅村田村谷 直金關三長 三三三之三 郎郎郎丞郎 政民民民社 |

津中
雲村
國高
利一
政社

議員選舉區別氏名

新潟縣

| | | | | |
|-----|------|------|------|------|
| 三 | 二 | 一 | 二 | 一 |
| 加大三 | 小松佐高 | 松山北 | 佐川森牧 | 太中倉西 |
| 藤竹宅 | 柳木藤岡 | 井本梯吟 | 保副山 | 村成岡 |
| 知貫正 | 牧與大 | 郡二 | 畢耕理 | 不庄竹 |
| 正一一 | 衛弘一輔 | 治郎吉 | 雄隆肇藏 | 一男郎郎 |
| 政議社 | 民政民議 | 民政民 | 政民議民 | 政民政政 |

群馬縣

| | | | | |
|-------|------|------|------|------|
| 中島知久平 | 三 | 二 | 一 | 四 |
| 古出野 | 坂石橫高 | 松高宮松 | 川增武 | 佐今 |
| 島井中 | 本坂川橋 | 永橋崎永 | 合田 | 藤成 |
| 義兵徹 | 宗養重守 | 義泰 | 直義三 | 謙留 |
| 英吉也 | 郎平次平 | 雄雄一東 | 次一郎 | 輔助 |
| 政 | 民政議 | 議政政民 | 社政政民 | 民民政民 |

千葉縣

| | | | | |
|------|-----|------|------|------|
| 三 | 二 | 一 | 二 | 一 |
| 池土小岩 | 宇吉今 | 川成篠多 | 木木最篠 | 清飯須青 |
| 田屋高瀨 | 賀植井 | 島島原田 | 暮檜上原 | 水塚永木 |
| 清長三三 | 四庄健 | 正島陸滿 | 武三政義 | 留春三太 |
| 秋郎郎亮 | 郎亮彥 | 郎勇朗長 | 夫郎三政 | 郎郎好一 |
| 民政政政 | 民政政 | 政民民民 | 政民民政 | 民民社議 |

大阪府

| | | | | |
|------|------|------|-----|-----|
| 五 | 四 | 三 | 二 | 一 |
| 曾田勝杉 | 本中西川 | 上内池塚 | 井山紫 | 一板田 |
| 和中田山 | 田山尾村 | 田藤崎本 | 上本安 | 松野万 |
| 義万永治 | 彌福末太 | 孝正忠重 | 良芳九 | 定友清 |
| 式逸吉郎 | 郎藏廣郎 | 吉剛孝藏 | 次治郎 | 吉造臣 |
| 政民民社 | 民民社社 | 政民社 | 社政民 | 民政社 |

兵庫縣

| | | | | |
|------|------|------|-----|-----|
| 一 | 三 | 二 | 一 | 六 |
| 永中河 | 岡鈴平河 | 野小片小 | 野飯岡 | 南松井 |
| 江井上丈 | 崎木川野 | 口串山又 | 方田崎 | 田阪 |
| 一一太 | 久英太 | 喜清次 | 次助 | 鼎竹豐 |
| 夫夫郎 | 郎雄郎郎 | 一哲郎 | 郎夫憲 | 三代光 |
| 社政社 | 民政民政 | 政政社民 | 政民社 | 政民議 |

長崎縣

| | | | | | |
|-------|------|-----|------|-----|----|
| 馬場元治東 | 五 | 四 | 三 | 二 | 一 |
| 山若齋 | 小原田清 | 田河小 | 立小米前 | 濱野 | 野田 |
| 川宮藤 | 畑中瀨 | 中合林 | 林窪房 | 川房滿 | 徹文 |
| 賴三貞隆 | 虎惣兵 | 源義絹 | 之滿之 | 之滿之 | 太一 |
| 郎夫夫 | 助衛雄郎 | 郎一治 | 平助亮助 | 郎部 | 郎部 |
| 政政民 | 民政民議 | 政社政 | 政民社民 | 民民 | 民民 |

議員選舉區別氏名

滋賀縣

| | | | |
|-------|------|------|-------|
| 今堀笠平田 | 坂倉津太 | 春高鹽山 | 宮平山深山 |
| 井内井野邊 | 下元倉田 | 名木川崎 | 本野口澤田 |
| 新良重力七 | 仙要龜正 | 成一正 | 雄光五太順 |
| 造平治三六 | 郎一作孝 | 章郎藏二 | 郎雄郎郎策 |
| 第三民議政 | 民政民政 | 議民政社 | 政民政政民 |

山梨縣

| | | |
|------|------|-------|
| 坂倉津太 | 春高鹽山 | 宮平山深山 |
| 下元倉田 | 名木川崎 | 本野口澤田 |
| 仙要龜正 | 成一正 | 雄光五太順 |
| 郎一作孝 | 章郎藏二 | 郎雄郎郎策 |
| 民政民政 | 議民政社 | 政民政政民 |

長野縣

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-------|
| 田丸松 | 加古牧 | 三伊木 | 大匹清 | 服田森青堤 |
| 中山本 | 藤屋野 | 田藤村 | 野田 | 部中木 |
| 邦三忠 | 鎌慶良 | 村東作 | 伴銳 | 岩養太亮次 |
| 治郎雄 | 造隆三 | 夫郎郎 | 陸吉寬 | 吉達郎貫郎 |
| 民政民 | 社民政 | 東民政 | 政政民 | 政東政民 |

岐阜縣

| | | | |
|-------|-----|-------|-------|
| 服田森青堤 | 部中木 | 岩養太亮次 | 吉達郎貫郎 |
| 政東政民 | | | |

宮城縣

| | | | | |
|-----|-------|------|------|------|
| 大小村 | 宮守庄菊内 | 田百植 | 野中北宮 | 羽小山 |
| 石山松 | 澤屋司 | 原 | 原 | 田山邦 |
| 倫倉久 | 清榮一 | 中瀨 | 溝 | 武山太 |
| 治助義 | 作夫郎輔 | 耕渡郎 | 勝司助勇 | 郎亮郎 |
| 政民政 | 政議政社民 | 第三民政 | 社第三民 | 政第三民 |

五

栃木縣

| | | | | |
|---|-------|------|-----|------|
| 森 | 坪岡江高船 | 飯佐赤風 | 大川中 | 葉豐中内 |
| 下 | 山田原田 | 村藤城見 | 内崎井 | 梨田崎田 |
| 國 | 德久三耘 | 五之宗 | 竹巳川 | 新豐俊信 |
| 雄 | 彌治郎平中 | 郎助德章 | 助郎浩 | 郎吉秀也 |
| 民 | 政民政政 | 議政議無 | 政政民 | 政民政議 |

茨城縣

三重縣

| | | | |
|-------|-------|-------|-----|
| 濱長濱尾 | 馬川片松加 | 八松森福江 | 木小松 |
| 田井地崎 | 岡崎岡田 | 木尾井藤 | 村平村 |
| 國 | 文行次 | 逸四榮甚九 | 淺重光 |
| 松源平雄 | 郎克一 | 郎郎藏三郎 | 七吉三 |
| 政民政第三 | 政民政政 | 民民政政議 | 民政政 |

奈良縣

| | | | |
|-----|-----|-----|-----|
| 木小松 | 村平村 | 淺重光 | 七吉三 |
| 民政政 | | | |

静岡縣

| | | | | |
|-----|-----|-----|------|--------|
| 杉大鈴 | 小岡大 | 内渡加 | 丹樋安 | 山椎服小塚 |
| 浦口木 | 笠本野 | 藤邊藤 | 下口藤 | 崎尾部山本 |
| 武喜正 | 原實一 | 守三 | 茂善右衛 | 常辨崎松 |
| 雄六吾 | 郎郎造 | 正郎一 | 郎門三 | 吉匡市壽三 |
| 東政議 | 政民政 | 民民政 | 政政議 | 議第三民無民 |

四

議員選舉區別氏名

| | | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|----|
| 島根縣 | | 鳥取縣 | | 富山縣 | |
| 二 | 一 | 二 | 一 | 二 | 一 |
| 沖島 | 高原 | 豐三 | 土松 | 山比 | 野寺 |
| 依島 | 橋內 | 好田 | 尾田 | 林助 | 村島 |
| 田孫 | 圓夫 | 田榮 | 倉村 | 川野 | 見之 |
| 鎌俊 | 三幸 | 次儀 | 宗謙 | 平寅 | 嘉權 |
| 三一 | 郎郎 | 收郎 | 明三 | 郎一 | 六藏 |
| 雄 | 雄 | 重道 | 郎 | 平 | 通 |
| 政 | 政 | 議 | 政 | 民 | 政 |

| | | | |
|-----|----|-----|----|
| 廣島縣 | | 岡山縣 | |
| 二 | 一 | 二 | 一 |
| 肥山 | 藤名 | 小星 | 玉黑 |
| 田道 | 田川 | 谷島 | 野田 |
| 丸圭 | 喜正 | 節二 | 知壽 |
| 司一 | 水市 | 夫郎 | 義男 |
| 政 | 政 | 政 | 政 |

| | | | |
|------|----|-----|----|
| 和歌山縣 | | 山口縣 | |
| 一 | 二 | 一 | 三 |
| 西木 | 中福 | 安庄 | 森宮 |
| 田山 | 野田 | 倍晉 | 田澤 |
| 主常 | 治悌 | 太貞 | 福太 |
| 郁一 | 介夫 | 寬郎 | 市裕 |
| 平郎 | 郎道 | 寬郎 | 郎寬 |
| 政 | 政 | 政 | 政 |

| | | | |
|-----|----|-----|----|
| 岩手縣 | | 福島縣 | |
| 二 | 一 | 三 | 二 |
| 志鶴 | 八高 | 山星 | 林助 |
| 賀見 | 角橋 | 田佐 | 川野 |
| 和祐 | 昌三 | 六昌 | 西田 |
| 利輔 | 郎郎 | 郎一 | 野啓 |
| 政 | 政 | 政 | 政 |

| | | | | | |
|-----|----|-----|----|-----|----|
| 秋田縣 | | 山形縣 | | 青森縣 | |
| 町 | 二 | 一 | 二 | 一 | 二 |
| 田忠 | 清伊 | 佐西 | 菊工 | 森工 | 小笠 |
| 治民 | 水藤 | 藤方 | 池藤 | 田藤 | 原八 |
| | 德五 | 利次 | 良十 | 重次 | 鐵十 |
| | 郎郎 | 啓馬 | 一雄 | 郎男 | 美 |
| | 政 | 政 | 政 | 政 | 政 |

| | | | |
|-----|----|-----|----|
| 石川縣 | | 福井縣 | |
| 二 | 一 | 二 | 一 |
| 喜青 | 箸長 | 土小 | 中中 |
| 多山 | 本谷 | 田山 | 川田 |
| 壯兵 | 太長 | 莊義 | 重儀 |
| 一憲 | 吉次 | 助孝 | 春直 |
| 郎三 | 郎 | 政 | 政 |
| 政 | 政 | 政 | 政 |

議員選舉區別氏名

| | | | |
|--------|--------|--------|-----|
| 熊本縣 | | 佐賀縣 | |
| 一 | 二 | 一 | 二 |
| 伊大石木松安 | 愛一藤田中池 | 綾清重小長 | |
| 豆麻坂村野達 | 野ノ生中野田 | 部瀨松野野 | |
| 富唯正鶴謙 | 時瀨安亮邦秀 | 健規重綱 | |
| 人男繁義平藏 | 一俊太郎民郎 | 太矩郎雄治 | 廉良 |
| 議民議政政議 | 民政政政民政 | 政政民政民政 | 政民政 |

| | | | |
|------|--------|-------|------|
| 鹿兒島縣 | | 宮崎縣 | |
| 二 | 一 | | 二 |
| 寺東富 | 藏津松小井 | 陳鈴曾三伊 | 藏小坂三 |
| 田鄉吉 | 園崎方泉上 | 木木浦東 | 原山田善 |
| 市榮 | 三幸純知 | 軍憲重虎岩 | 七道信 |
| 正實二 | 郎武郎也治 | 吉郎貴雄男 | 捷郎男房 |
| 政政社 | 議議第三民政 | 議民議東政 | 議政政政 |

| | | | |
|------|------|------|------|
| 北海道 | | 沖繩縣 | |
| 二 | 一 | 三 | 一 |
| 松坂林東 | 一澤板山 | 小金永岩 | 岩元榮 |
| 浦東 | 柳田谷本 | 林井田 | 林元榮 |
| 周幸路 | 仲利順厚 | 三正良 | 三正良 |
| 太太 | 次 | 郎夫吉郎 | 郎夫吉郎 |
| 郎郎一武 | 郎吉助三 | 民議政 | 政 |
| 民民議政 | 民民政民 | | |

| | | | | |
|-----|-----|-------|-----|------|
| 愛媛縣 | 香川縣 | | 德島縣 | |
| 二 | 一 | 二 | 一 | 二 |
| 松矢三 | 宮藤前 | 三秋眞 | 紅田生 | 世田小 |
| 浦野土 | 脇本川 | 木田鍋 | 露村田 | 耕淵山 |
| 伊太忠 | 長捨正 | 武 | 秀和 | 弘豐谷 |
| 平郎造 | 吉助一 | 夫清勝 | 昭吉平 | 一吉藏 |
| 政民政 | 政議社 | 第二議民政 | 政民政 | 政第三民 |

| | | | | |
|-----|-----|-----|-----|-----|
| 福岡縣 | 高知縣 | | | |
| 二 | 一 | 三 | 二 | 一 |
| 中野正 | 林依佐 | 長富大 | 村高砂 | 村小河 |
| 剛 | 光竹 | 野田石 | 上島田 | 瀨野上 |
| 東 | 讓好晴 | 長次 | 紋龜重 | 武寅哲 |
| | 治秋記 | 廣郎大 | 郎郎政 | 男吉太 |
| | 政政社 | 民民東 | 民政政 | 民民政 |

| | | | | | | |
|-----|------|-------|-------|-----|---|--|
| 大分縣 | 三 | | 二 | | 一 | |
| 一金 | 小田末勝 | 岡增鶴山 | 松田石田龜 | 原簡松 | | |
| 宮房治 | 池原借正 | 野永崎 | 尾島井尻 | 口牛本 | | |
| 郎夫 | 四春一 | 龍元惣 | 三勝德生 | 初九一 | | |
| 民無 | 郎次郎憲 | 一也市輔作 | 藏郎次五郎 | 郎夫郎 | | |
| | 議社民民 | 民政政議政 | 民民政政社 | 政議社 | | |

議員所屬黨派府縣別人員表

(昭和十二年十二月三十日調)

| 五 | 四 | 三 |
|------|-------|-----|
| 南東木遠 | 南岡北手赤 | 田渡大 |
| 雲下山 | 條田代松 | 代邊島 |
| 正太房 | 德春勝木克 | 正泰寅 |
| 朔貞郎吉 | 男夫郎吉鷹 | 治邦吉 |
| 民政政民 | 政民議民議 | 政東民 |

議員所屬黨派府縣別人員表

(昭和十二年十一月三十日調)

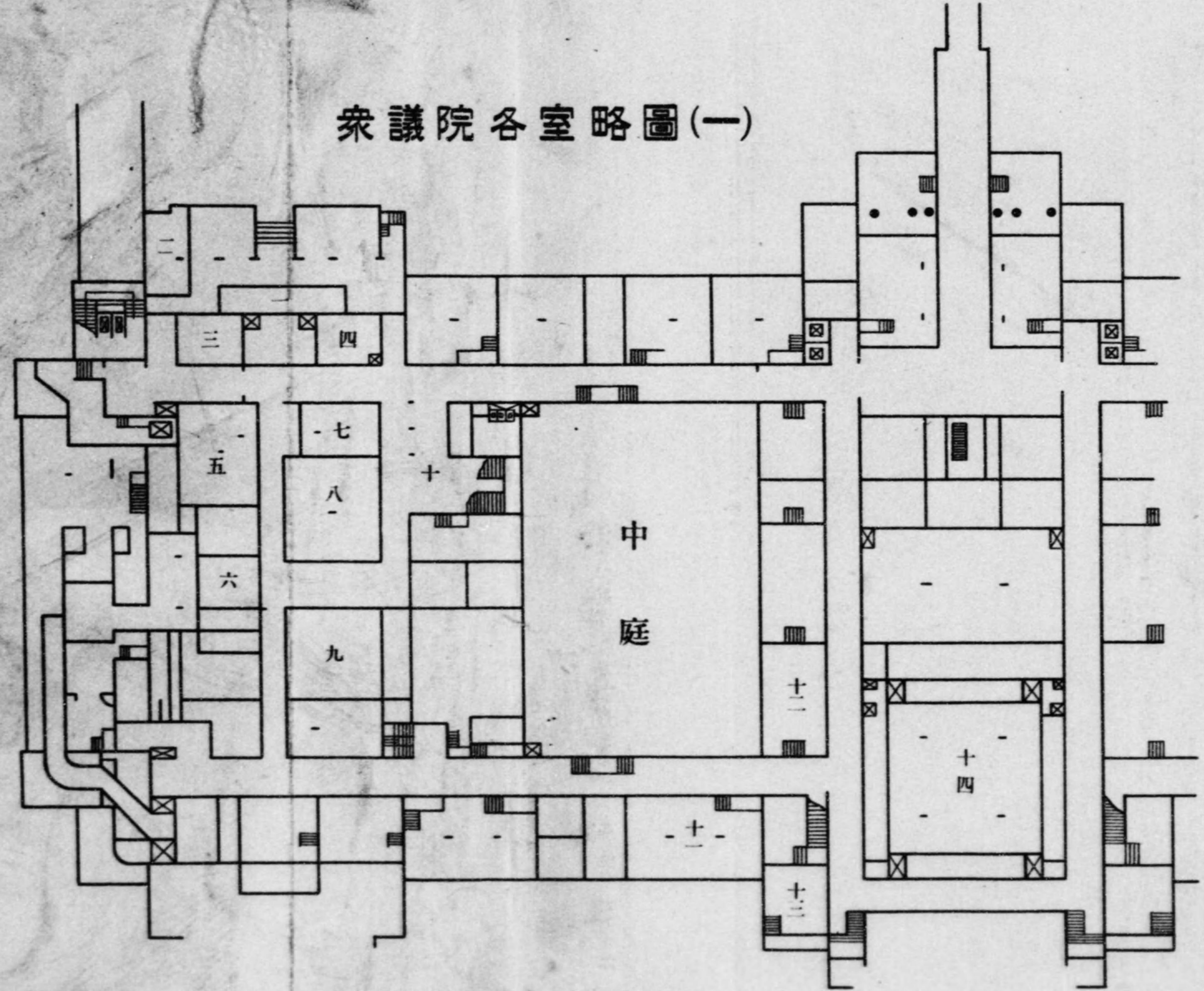
| 府縣 | 黨派 | 民政黨 | 立憲友會 | 第一俱樂部 | 社會黨 | 第二室 | 東方會 | 無所屬 | 計 |
|-------|----|-----|------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 東 京 | 立憲 | 一 | 八 | 一 | 八 | 三 | | | 三一 |
| 大 阪 | 立憲 | 七 | 三 | | 一 | | | | 一一 |
| 神 奈 川 | 立憲 | 四 | 五 | 一 | 二 | | | | 一一 |
| 兵 庫 | 立憲 | 七 | 七 | | 四 | | | | 一九 |
| 長 崎 | 立憲 | 三 | 四 | 一 | | | | | 一九 |
| 新 潟 | 立憲 | 八 | 四 | 二 | | | | | 一五 |
| 埼 玉 | 立憲 | 三 | 五 | 二 | | | | | 一〇 |
| 群 馬 | 立憲 | 四 | 三 | 一 | | | | | 一〇 |
| 千 葉 | 立憲 | 六 | 五 | | | | | | 一一 |
| 茨 城 | 立憲 | 三 | 四 | 三 | | | | | 一〇 |
| 栃 木 | 立憲 | 四 | 二 | | | | | | 一〇 |
| 奈 良 | 立憲 | 二 | 四 | 一 | | | | | 一〇 |
| 三 重 | 立憲 | 四 | 四 | | | | | | 一一 |
| 愛 知 | 立憲 | 七 | 四 | 三 | | | | | 一四 |
| 靜 岡 | 立憲 | 五 | 六 | 一 | | | | | 一二 |
| 山 梨 | 立憲 | 一 | 一 | 二 | | | | | 〇四 |
| 滋 賀 | 立憲 | 二 | 二 | | | | | | 〇四 |
| 岐 阜 | 立憲 | 三 | 四 | | | | | | 〇七 |
| 長 野 | 立憲 | 六 | 三 | | | 三 | | | 〇九 |
| 宮 城 | 立憲 | 三 | 三 | | | | | | 〇六 |
| 福 島 | 立憲 | 六 | 四 | 一 | | | | | 一一 |
| 岩 手 | 立憲 | 二 | 五 | | | | | | 〇七 |
| 青 森 | 立憲 | 三 | 二 | 一 | | | | | 〇六 |
| 山 形 | 立憲 | 二 | 四 | | | | | | 〇六 |
| 秋 田 | 立憲 | 四 | 二 | | | | | | 〇六 |
| 福 井 | 立憲 | 二 | 二 | | | | | | 〇四 |
| 石 川 | 立憲 | 三 | 二 | 一 | | | | | 〇六 |
| 富 山 | 立憲 | 四 | 二 | | | | | | 〇六 |
| 鳥 取 | 立憲 | 二 | 一 | | | | | | 〇三 |
| 島 根 | 立憲 | 三 | 三 | 一 | | | | | 〇七 |
| 岡 山 | 立憲 | 二 | 六 | | | | | | 〇八 |
| 廣 島 | 立憲 | 六 | 四 | 三 | | | | | 一三 |
| 山 口 | 立憲 | 一 | 五 | 二 | | | | | 〇八 |
| 和 歌 山 | 立憲 | 二 | 三 | | | | | | 〇五 |
| 德 島 | 立憲 | 二 | 二 | 一 | | | | | 〇五 |
| 香 川 | 立憲 | 一 | 三 | | | | | | 〇四 |
| 愛 媛 | 立憲 | 五 | 四 | | | | | | 〇九 |
| 高 知 | 立憲 | 二 | 二 | 三 | | | | | 〇七 |
| 福 岡 | 立憲 | 五 | 六 | | | | | | 一一 |
| 大 分 | 立憲 | 三 | 三 | | | | | | 〇六 |
| 佐 賀 | 立憲 | 三 | 三 | | | | | | 〇六 |
| 熊 本 | 立憲 | 一 | 五 | 四 | | | | | 〇六 |
| 宮 崎 | 立憲 | 一 | 一 | | | | | | 〇二 |
| 鹿 兒 島 | 立憲 | 二 | 五 | 三 | | | | | 〇五 |
| 沖 繩 | 立憲 | 二 | 二 | 一 | | | | | 〇五 |
| 北 海 道 | 立憲 | 一〇 | 六 | 三 | | | | | 二〇 |
| 計 | | 一八〇 | 一七四 | 四九 | 三六 | 一三 | 一一 | 三 | 四六六 |

衆議院各室略圖(一)

五 四 三 二 一
 受付、傍聽券渡所
 第一面談室
 第二面談室
 守衛直直室

十九 八 七 六
 浴室
 傍聽人下足室
 傍聽人携帶品預室
 守衛直直室
 傍聽人廣間

十四 十三 十二
 印刷局活版課出張所



地階

十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

車寄
正玄關
守衛室
受付

速記課

化粧室

十四
十三
十二
十一
十
九
八
七
六
五
四
三
二
一

化粧室

議員帽子置場

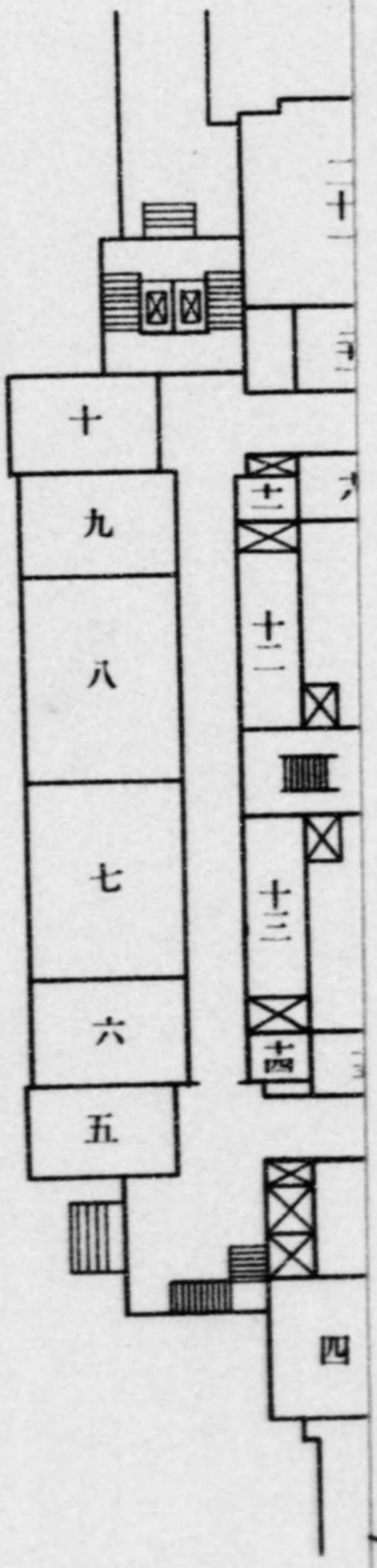
宿直室
職員食堂
小使室、湯沸室

職員便所

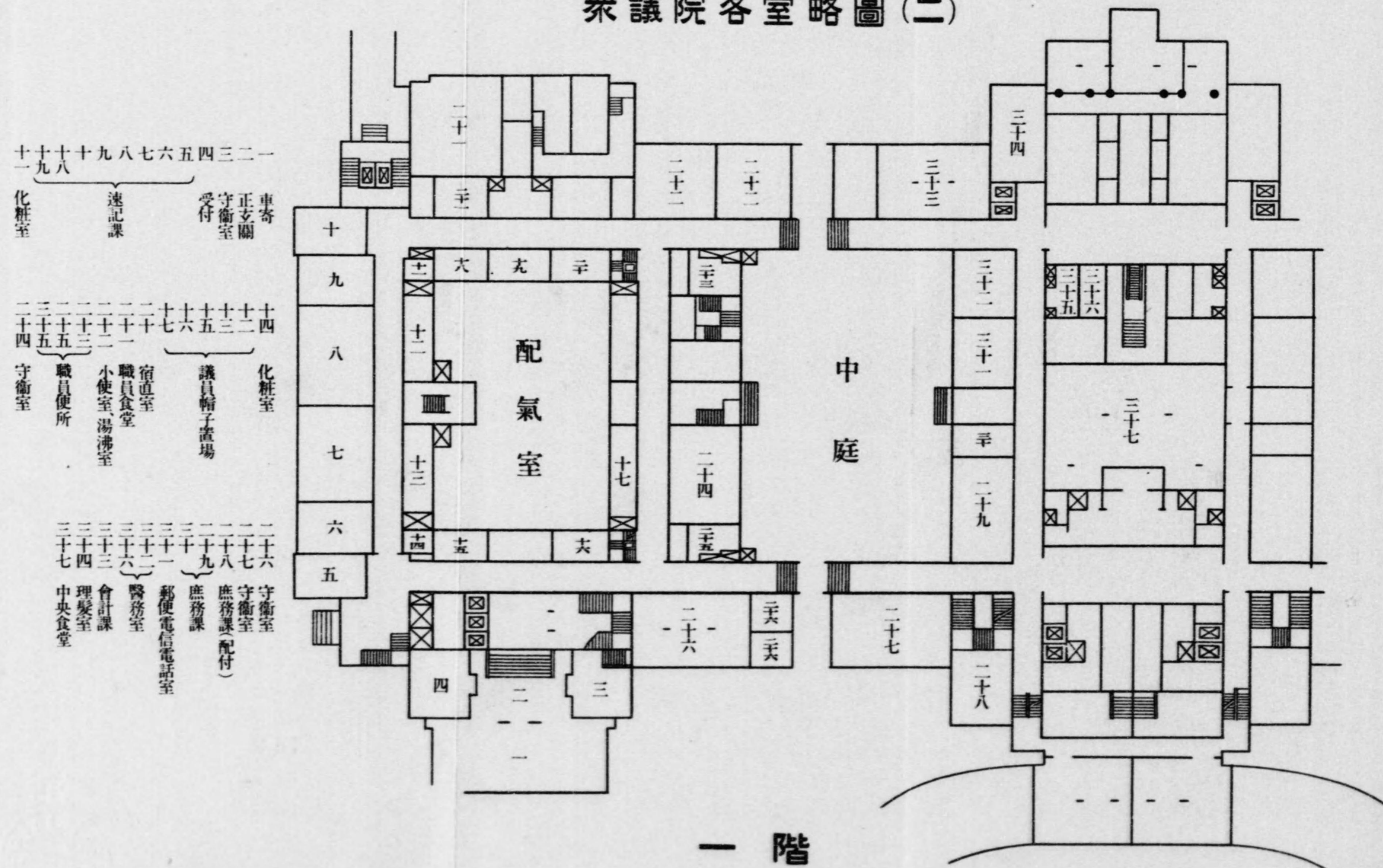
守衛室

二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五

守衛室
守衛室
庶務課(配付)
庶務課
郵便電信電話室
醫務室
會計課
理髮室
中央食堂



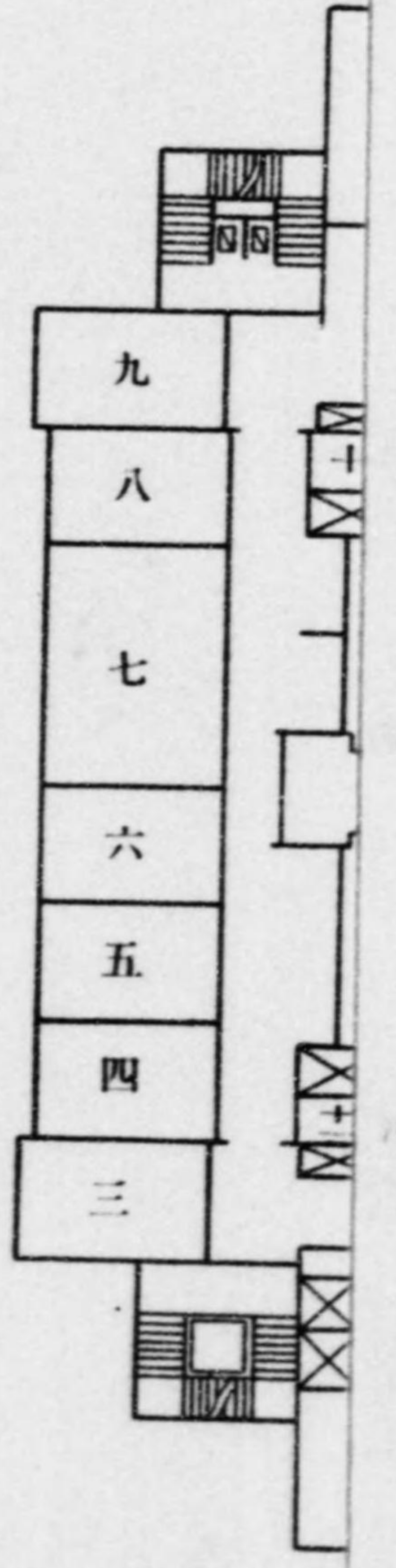
衆議院各室略圖(二)



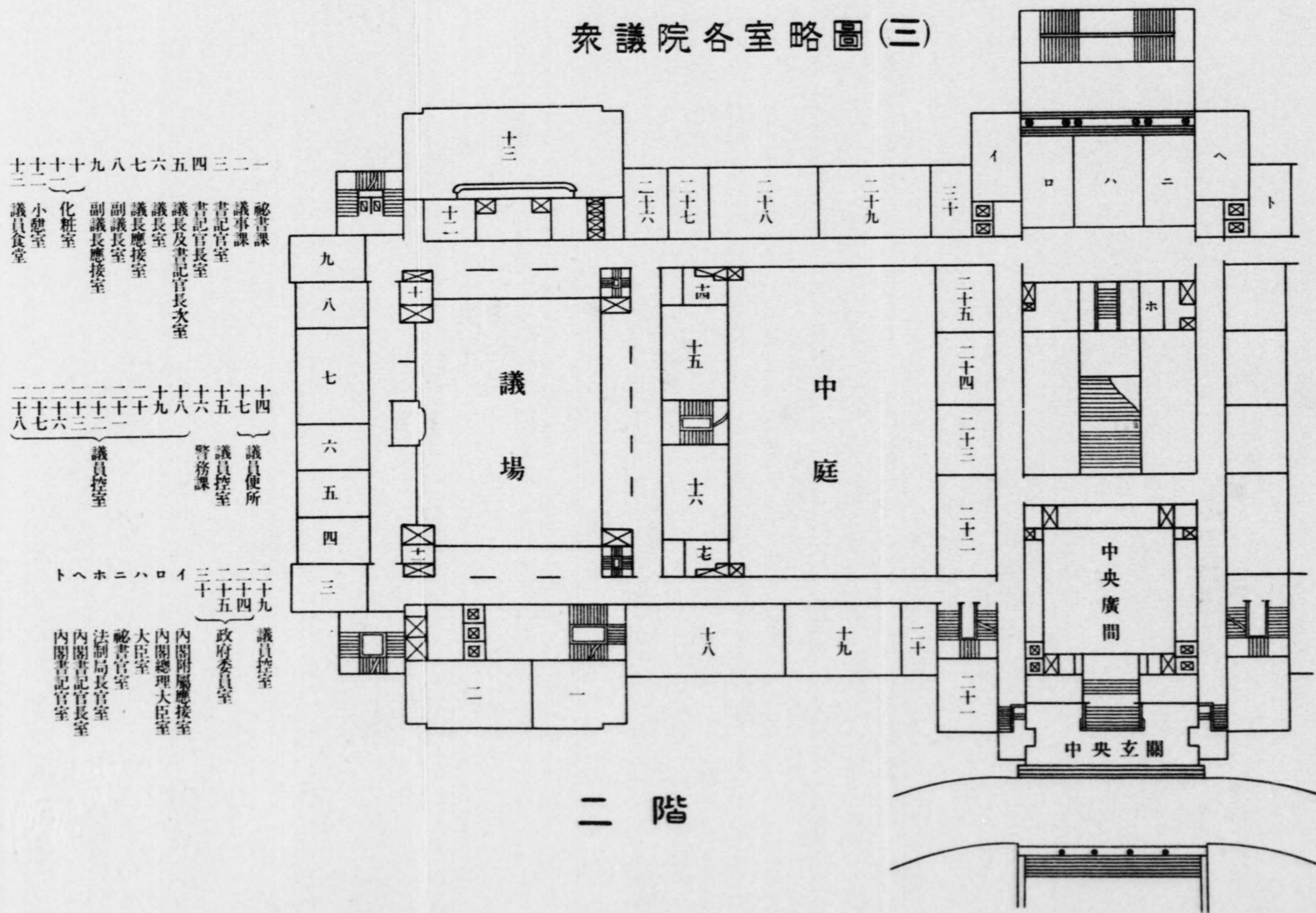
十一 秘書課
 十 議事課
 九 書記官室
 八 書記官長室
 七 議長及書記官長次室
 六 議長室
 五 議長應接室
 四 副議長室
 三 副議長應接室
 二 化粧室
 一 小憩室
 十二 議員食堂

十四 議員便所
 十五 議員控室
 十六 警務課
 十七 議員控室
 十八 議員控室
 十九 議員控室
 二十 議員控室
 二十一 議員控室
 二十二 議員控室
 二十三 議員控室
 二十四 議員控室
 二十五 議員控室
 二十六 議員控室
 二十七 議員控室
 二十八 議員控室

二十九 議員控室
 三十 政府委員室
 三十一 內閣附屬應接室
 三十二 內閣總理大臣室
 三十三 大臣室
 三十四 秘書官室
 三十五 法制局長官室
 三十六 內閣書記官長室
 三十七 內閣書記官室



衆議院各室略圖(三)



一 秘書課
 二 書記官長室
 三 書記官長室
 四 議長及書記官長次室
 五 議長室
 六 議長應接室
 七 副議長室
 八 副議長應接室
 九 化粧室
 十 小憩室
 十一 議員食堂

十四 議員便所
 十五 議員控室
 十六 警務課
 十七 議員控室
 十八 議員控室
 十九 議員控室
 二十 議員控室
 二十一 議員控室
 二十二 議員控室
 二十三 議員控室
 二十四 議員控室
 二十五 議員控室
 二十六 議員控室
 二十七 議員控室
 二十八 議員控室

二十九 議員控室
 三十 政府委員室
 三十一 政府委員室
 三十二 政府委員室
 三十三 政府委員室
 三十四 政府委員室
 三十五 政府委員室
 三十六 政府委員室
 三十七 政府委員室
 三十八 政府委員室
 三十九 政府委員室
 四十 政府委員室
 四十一 政府委員室
 四十二 政府委員室
 四十三 政府委員室
 四十四 政府委員室
 四十五 政府委員室
 四十六 政府委員室
 四十七 政府委員室
 四十八 政府委員室
 四十九 政府委員室
 五十 政府委員室
 五十一 政府委員室
 五十二 政府委員室
 五十三 政府委員室
 五十四 政府委員室
 五十五 政府委員室
 五十六 政府委員室
 五十七 政府委員室
 五十八 政府委員室
 五十九 政府委員室
 六十 政府委員室
 六十一 政府委員室
 六十二 政府委員室
 六十三 政府委員室
 六十四 政府委員室
 六十五 政府委員室
 六十六 政府委員室
 六十七 政府委員室
 六十八 政府委員室
 六十九 政府委員室
 七十 政府委員室
 七十一 政府委員室
 七十二 政府委員室
 七十三 政府委員室
 七十四 政府委員室
 七十五 政府委員室
 七十六 政府委員室
 七十七 政府委員室
 七十八 政府委員室
 七十九 政府委員室
 八十 政府委員室
 八十一 政府委員室
 八十二 政府委員室
 八十三 政府委員室
 八十四 政府委員室
 八十五 政府委員室
 八十六 政府委員室
 八十七 政府委員室
 八十八 政府委員室
 八十九 政府委員室
 九十 政府委員室
 九十一 政府委員室
 九十二 政府委員室
 九十三 政府委員室
 九十四 政府委員室
 九十五 政府委員室
 九十六 政府委員室
 九十七 政府委員室
 九十八 政府委員室
 九十九 政府委員室
 一百 政府委員室

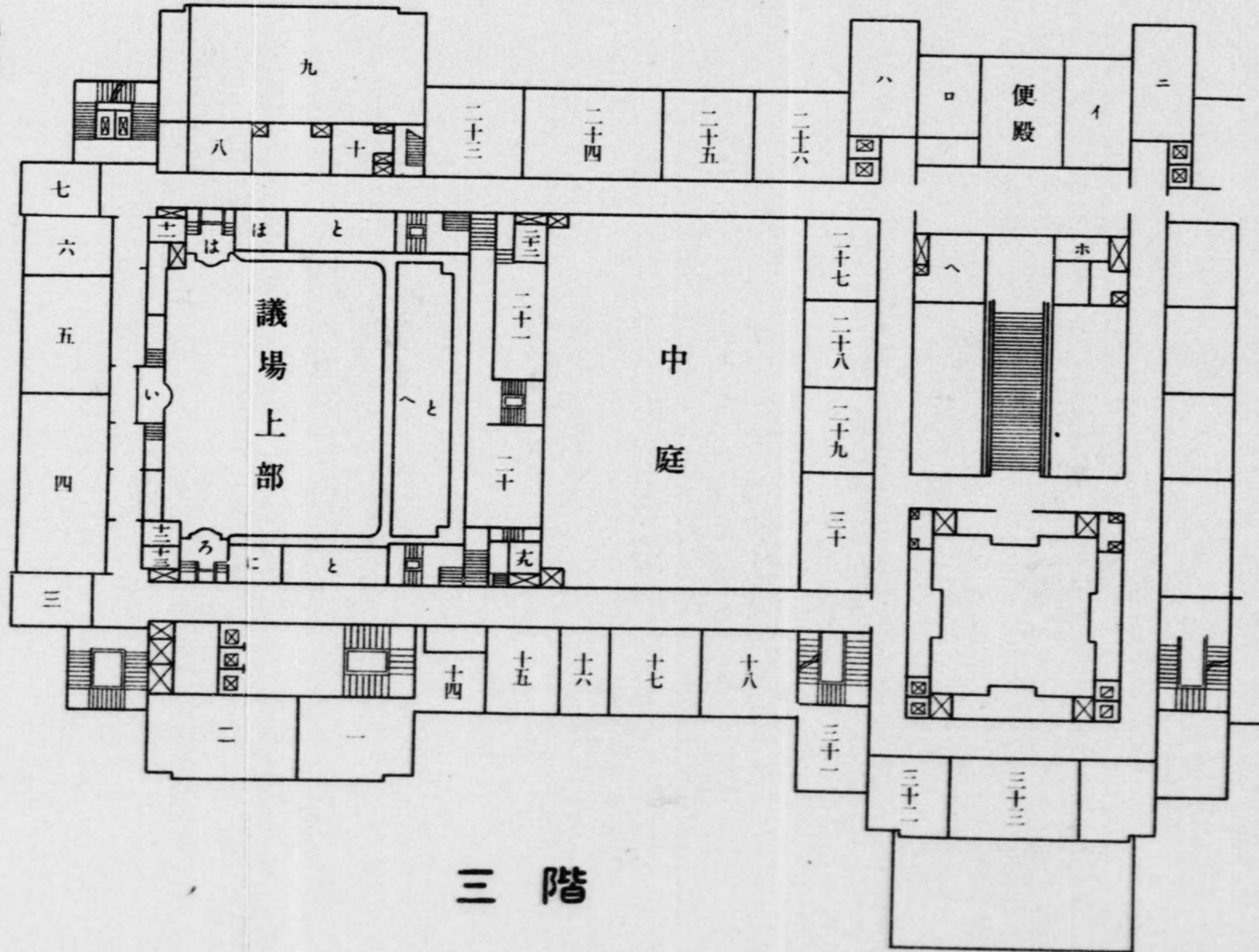
衆議院各室略圖(四)

- 一 議員控室
- 二 委員室(建議委員室)
- 三 委員課(請願係)
- 四 委員室(決算委員室)
- 五 議員控室
- 六 政府委員室
- 七 委員室(豫算委員室)
- 八 喫茶室
- 九 化粧室

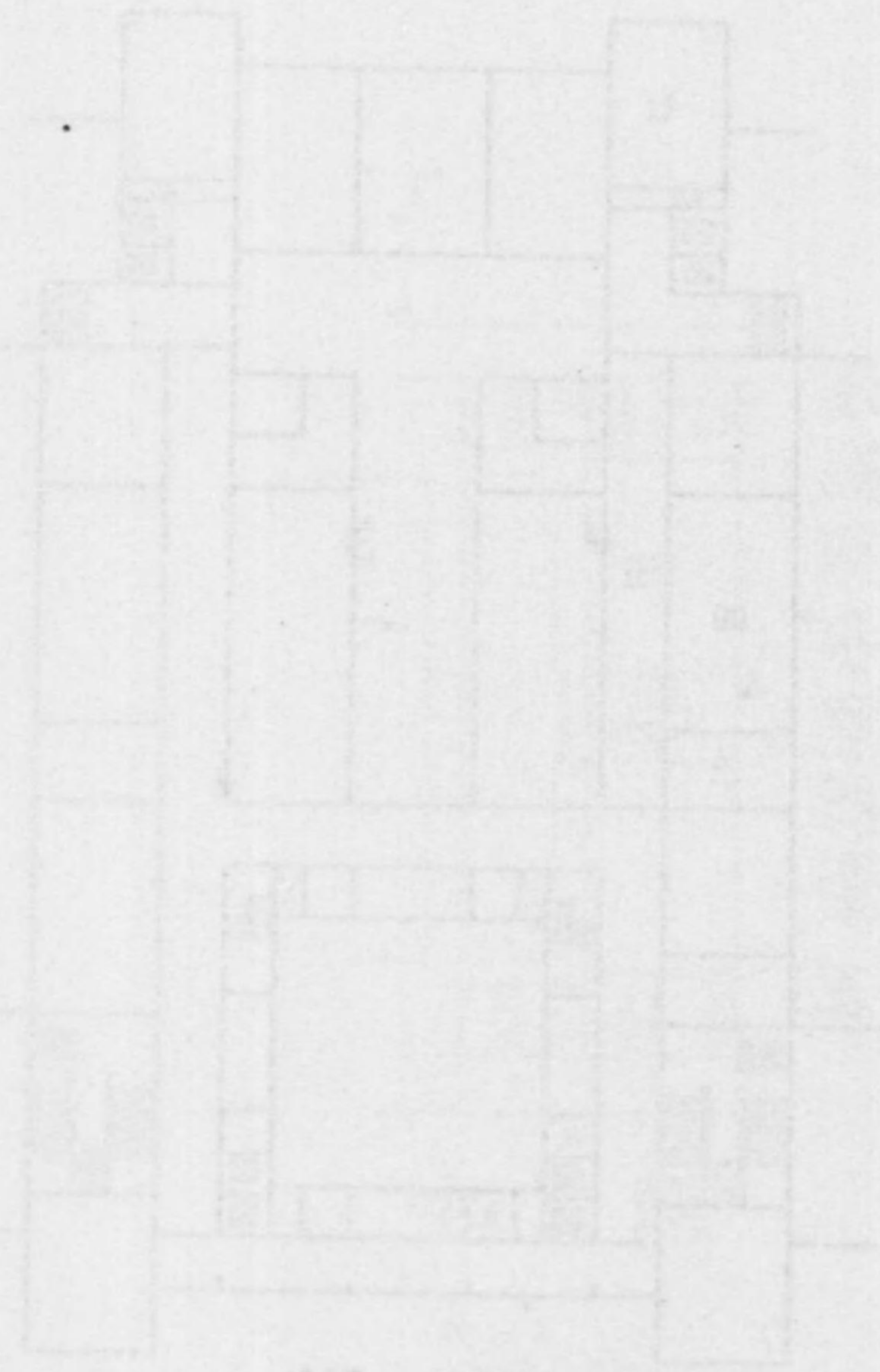
- 十 湯沸場
- 十一 議員控室
- 十二 委員室
- 十三 傍聽人控室
- 十四 委員室(懲罰委員室)
- 十五 委員室(請願委員室)
- 十六 委員室
- 十七 傍聽人控室
- 十八 委員室
- 十九 委員室
- 二十 委員室
- 二十一 委員室
- 二十二 委員室
- 二十三 委員室
- 二十四 委員室(請願委員室)

- 二十五 委員室
- 二十六 委員室
- 二十七 委員室
- 二十八 委員室
- 二十九 委員室
- 三十 委員室
- 三十一 調查部
- 三十二 兩院協議室
- 三十三 御座所
- 三十四 皇族席
- 三十五 貴賓席

- 一 貴族院議員席
- 二 官吏席
- 三 記者席
- 四 公衆席
- 五 御化粧室
- 六 皇族室
- 七 貴賓室
- 八 供奉員室
- 九 便殿附屬室
- 十 貴賓化粧室及便所

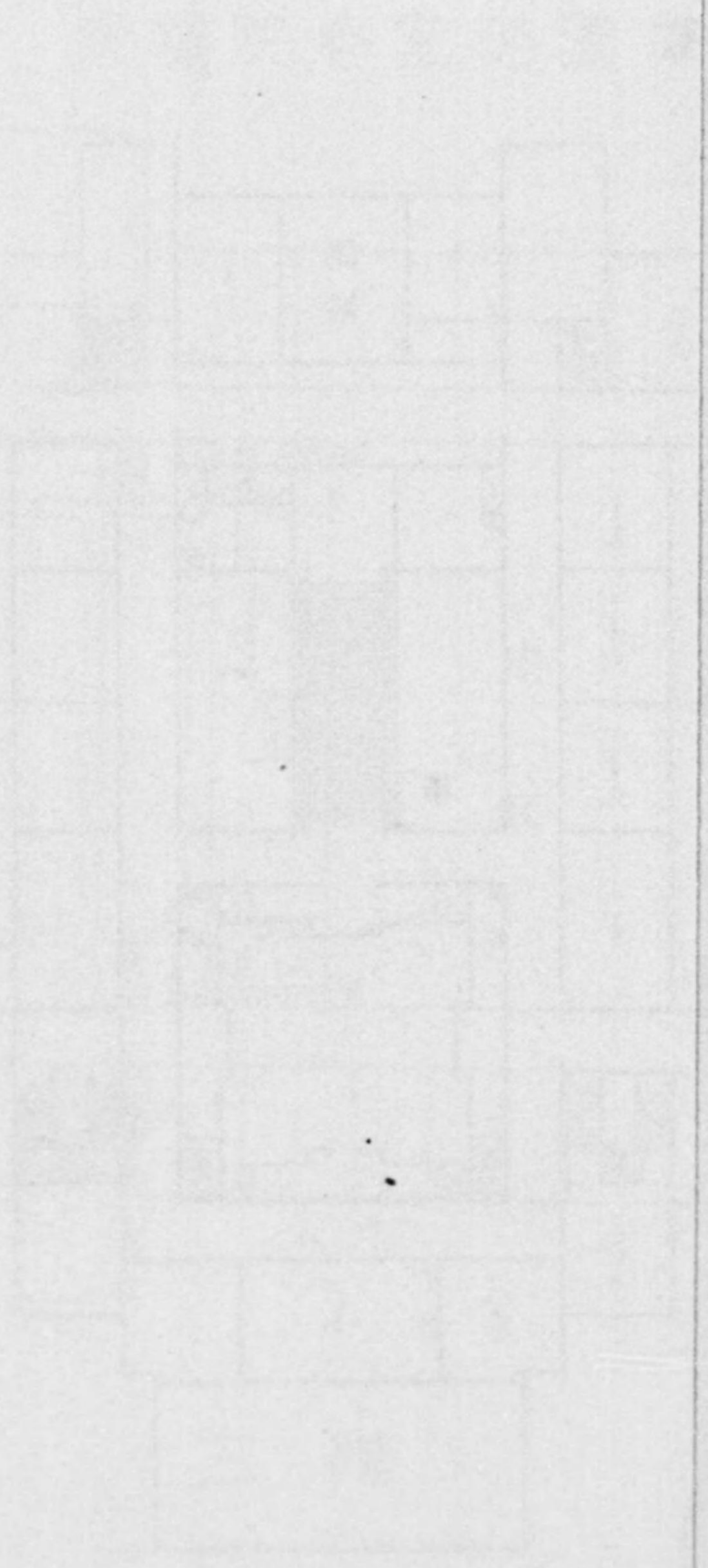


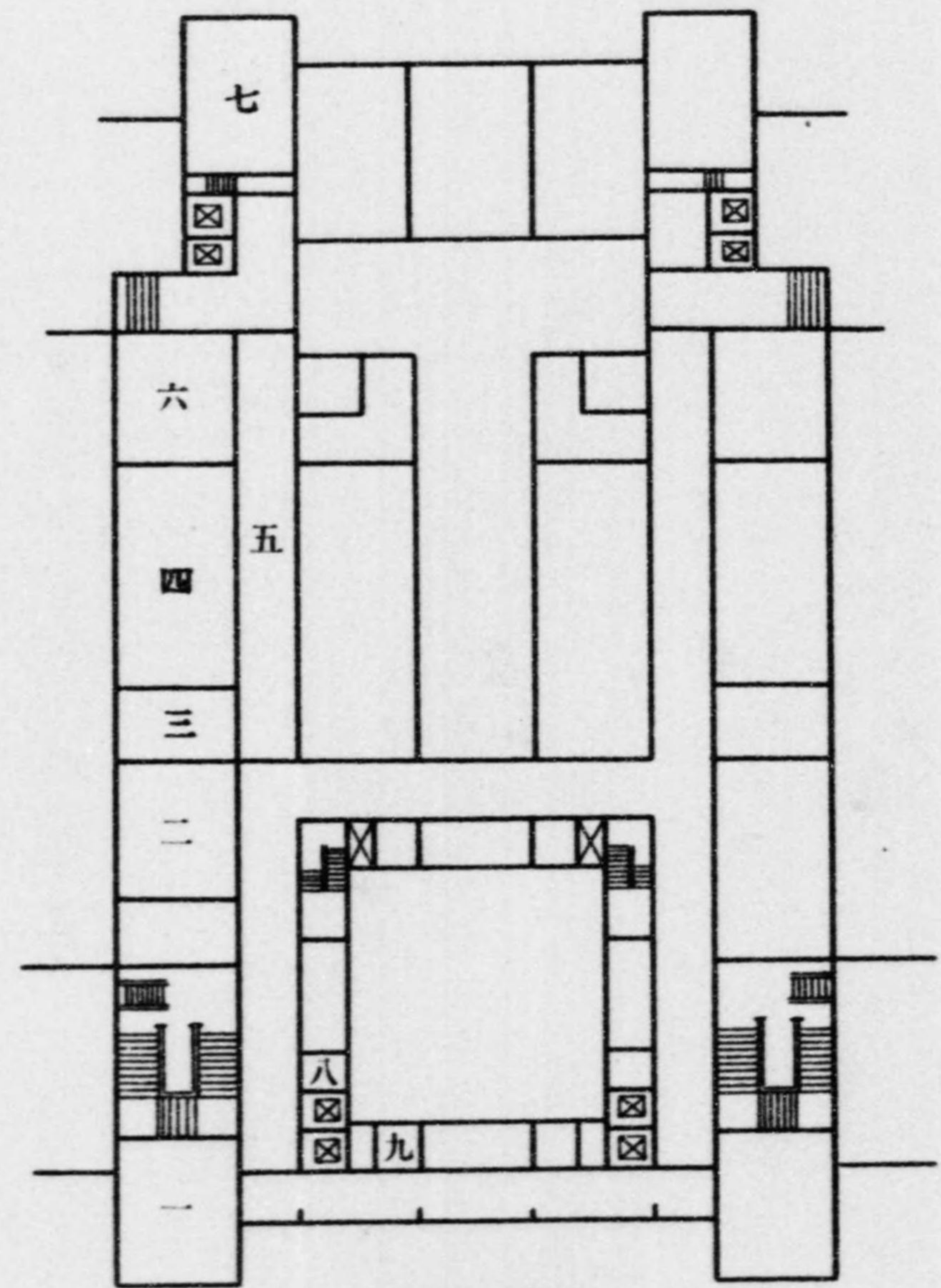
三階



四 四

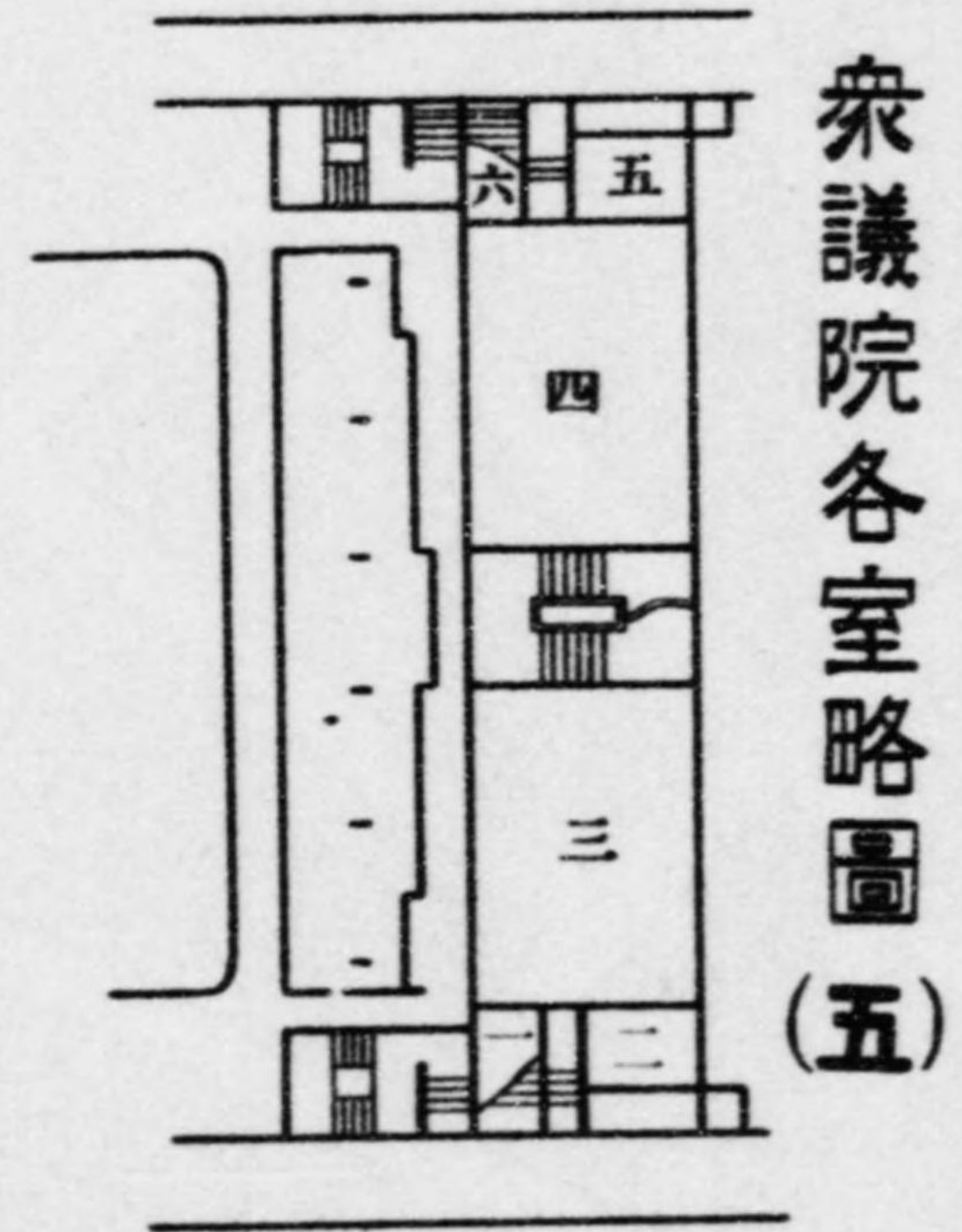
四 四
四 四
四 四





四階

- 一 書庫
- 二 圖書保存室
- 三 圖書閱覽室
- 四 新聞雜誌閱覽室
- 五 書庫
- 六 化粧室
- 七 化粧室
- 八 湯沸場
- 九 湯沸場

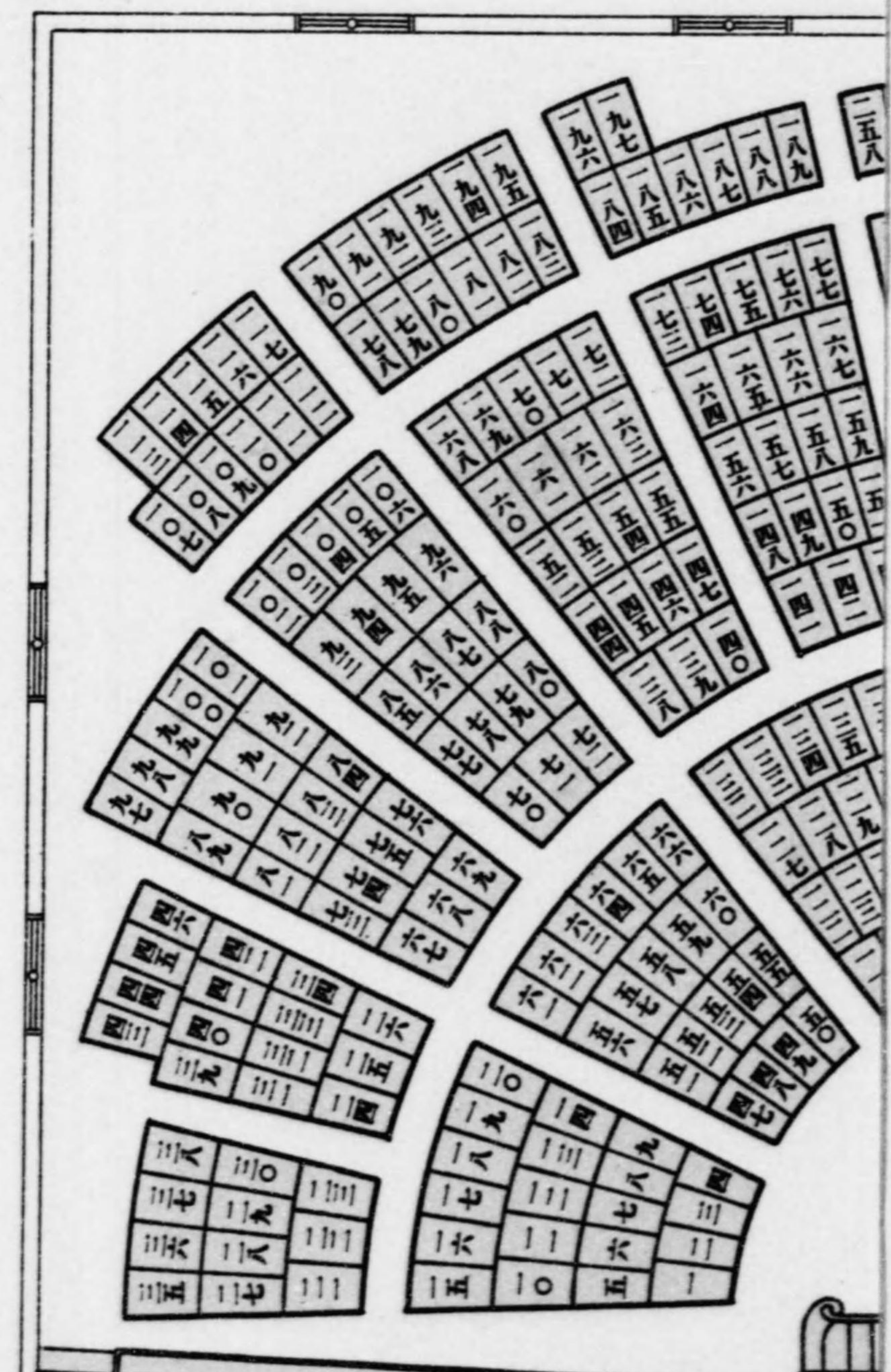


衆議院各室略圖
(五)

中三階

- 一 記者便所
- 二 議員便所
- 三 新聞記者室
- 四 新聞記者室

圖

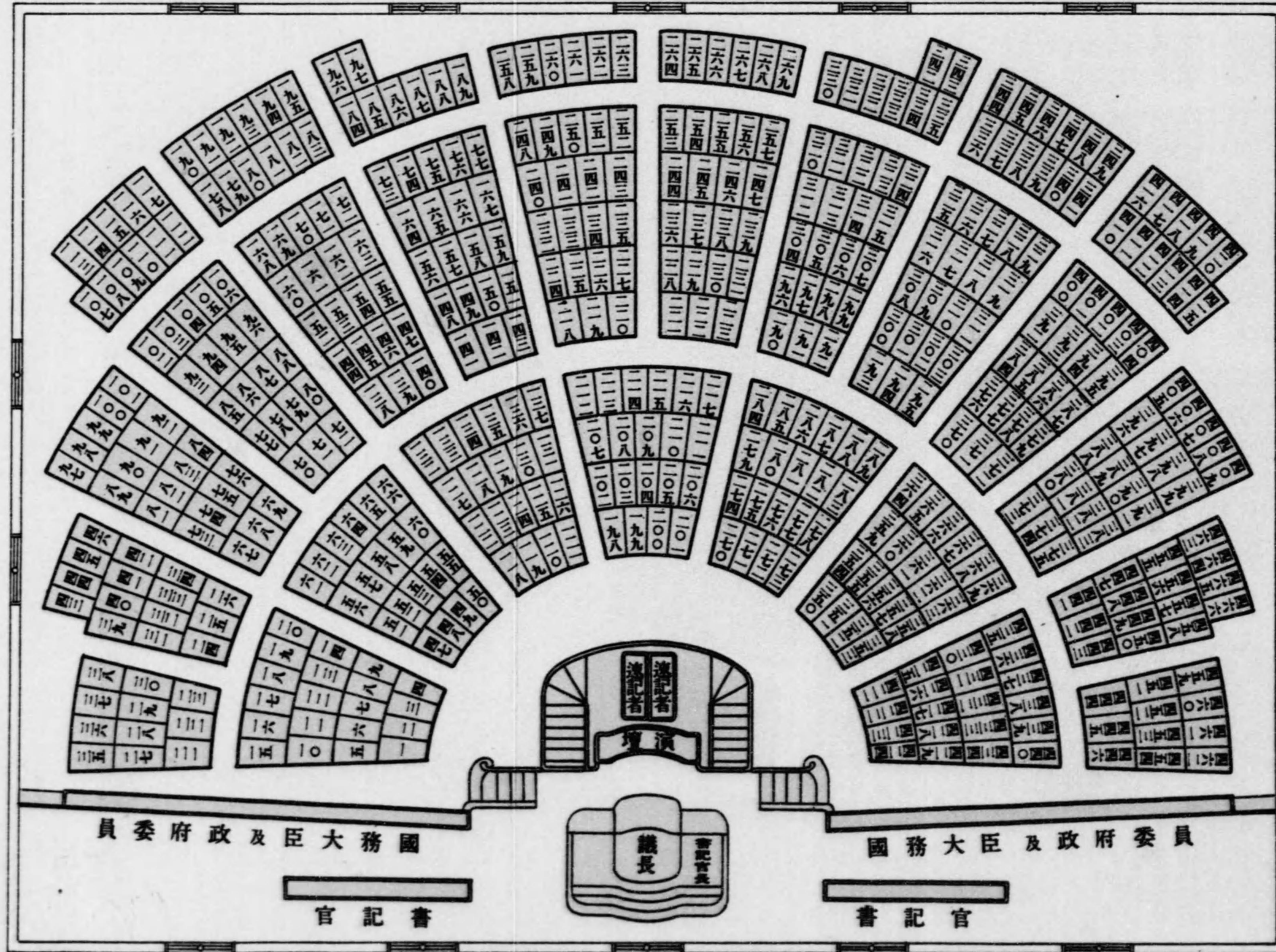


員委府政及臣大務國

官記書



議 場 略 圖

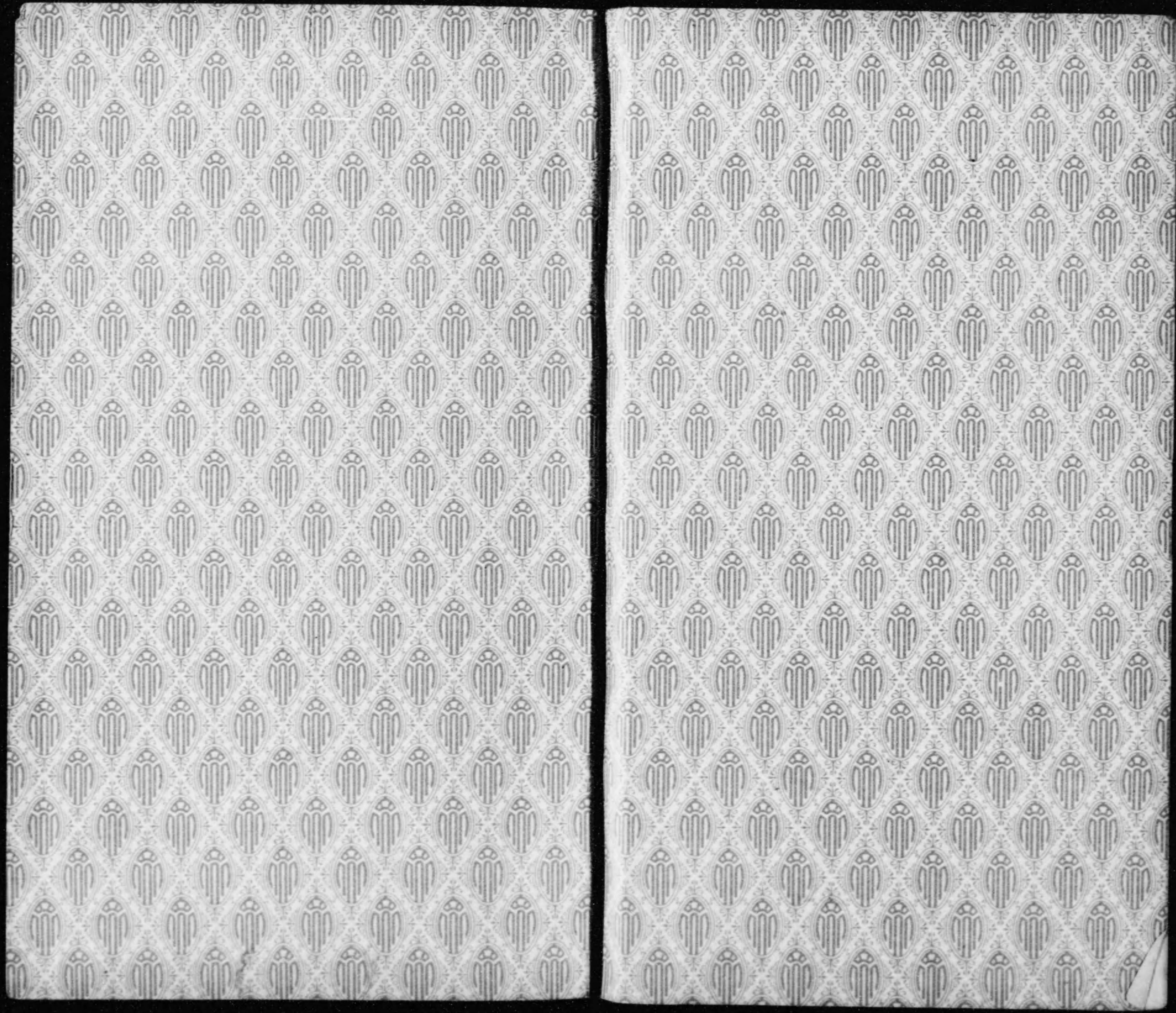


昭和十二年十二月二十日印刷
昭和十二年十二月二十二日發行

衆議院事務局

印刷者 內閣印刷局

內務部
參事
張
...



6